

『公立図書館職員の採用と業務内容に関する調査』

公立図書館における職員採用と業務分担に係る現状と課題

濱田幸夫 (筑波大学大学院図書館情報メディア研究科)

hamada@slis.tsukuba.ac.jp

【抄録】

すぐれた図書館職員の確保がサービス向上の重要な要件であることは従来から認識されてきた。しかし、その採用や配置に係る図書館設置者の方針等についての広範な実態把握は行われていないことから、全国の図書館を対象に実態等の調査を実施した。その結果、専門職制度は約半数の自治体で導入されているものの、制度が廃止された自治体もあること、図書館職員の採用にあたっては、都道府県立図書館の一部で問題作成等にも関与する事例がある一方で多くの図書館では必ずしも希望する人材の確保ができていないことなどが明らかになった。

1 はじめに

図書館が質の高く利用者ニーズに対応したサービスを実施するためには、職員、特に専門的職員である司書の果たす役割が重要である。しかし、公立図書館は地方公共団体の機関であることから、職員採用は人事部局との調整が必要であり、専門職制度（専門職としての任命）の導入等についても、図書館の意向だけでは実現し得ない。さらに、最近の地方財政の悪化等を契機として、職員配置の見直しや業務委託の推進等が進められており、特に、カウンター業務などのサービス部門の運営に大きな影響が生じていると言われている。

これまで、公立図書館及び私立図書館の職員数、有資格者数、専任職員数等については、文部科学省が社会教育調査報告書¹により、全国の実態を3年ごとに調査し公表している。また、社団法人日本図書館協会は、図書館の施設、資料及び職員の実態について毎年調査し、日本の図書館²等で公表している。しかし、これらの調査では、職員の採用や異動の状況、図書館以外での勤務実態等は明らかにされていない。

また、文部科学省に設置されたこれからの図書館の在り方検討協力者会議が取りまとめた『これからの図書館像』（2006）³では、これからの図書館経営に必要な視点の一つとして図書館職員の資質向上と教育・研修を挙げ、図書館職員自身の意識改革や研修機会の拡充の必要性を指摘しているが、その前提となる図書館職員の実態についての調査は実施されていない。

さらに、公立図書館の職員に関しては、日本図書館協会図書館員の問題調査研究委員会が1986年と1991年に意識調査^{4・5}を実施しているが、これらは職員に対する意識調査であり、自治体の方針等を調査したものではない。

このような状況を踏まえ、公立図書館におけ

る職員採用の実態と業務の実施状況等に関する調査を実施することとした。今回は、各図書館からの回答について、8月20日現在の集計結果を報告する。

2 調査の概要

2.1 調査の目的

本調査では、全国の公立図書館における職員の採用や配置、業務の実施状況等を調査し、その現状を明らかにする。今後、調査回答図書館のサービスの実施状況等と比較することによって、公立図書館における望ましい運営のあり方などを明らかにできるものと考えられる。

2.2 調査の方法

全国の都道府県立図書館（複数の図書館が設置されている場合は中央館等）及び地域性等を勘案して選択した7県（秋田県、千葉県、石川県、兵庫県、広島県、宮崎県、沖縄県）の全市町村立図書館（複数の図書館が設置されている場合は中央館等）を対象として、郵送による質問紙調査を実施した。調査対象は『図書館年鑑2006』⁶により選定した。

調査対象：
都道府県立図書館 47館
市町村立図書館 175館

調査時期：平成19年7月から8月

回収数：
都道府県立図書館 42館(89%)
市町村立図書館 123館(70%)

2.3 調査の内容

図書館の総務・人事担当者に対して、図書館の運営形態、専門職制度の有無と採用の実績、

職員の採用方針や図書館の関与の度合い、図書館以外の機関との人事異動の方針等について質問した。また、「図書館規則の制定、改正等」など関連文献などから選択した具体的な14件の業務について、司書有資格者が中心となって業務を行っているか、業務の実施にあたって課題はあるかなどについても質問した。

3 調査結果

3.1 図書館の運営形態

表1は図書館の運営形態の類型である。すべての業務を直営で実施しているところが多く（一部の業務に派遣労働者を受け入れている場合を含む）、業務の一部を民間委託している図書館や指定管理者制度により民間事業者が運営している市町村立図書館もある。

表1 図書館の運営形態

運営形態	都道府県立図書館	市町村立図書館
すべて直営	37 (88%)	98 (80%)
一部業務委託	5 (12%)	15 (12%)
すべて業務委託(管理のみ直営)	0 (0%)	4 (3%)
指定管理者による運営	0 (0%)	4 (3%)
その他	0 (0%)	2 (2%)

3.2 図書館職員の専門職制度と採用者数

表2は図書館における専門職制度の導入状況である。

専門職制度があるのは、都道府県立図書館は約70%、市町村立図書館では約40%である。また、過去には専門職としての任命があったものの現在では廃止されている自治体もある。

表2 専門職制度の導入状況

専門職制度の有無	都道府県立図書館	市町村立図書館
ある	28 (67%)	45 (37%)
制度はあるが、現在、任命されている職員はいない	1 (2%)	4 (3%)
ない	4 (10%)	57 (46%)
過去にはあったが、現在は廃止された	7 (17%)	8 (7%)
その他	0 (0%)	9 (7%)

表3は専門職制度のある都道府県立図書館28館における、過去10年間の専門職の採用実績である。

過去10年間の採用者数の最大人数は30人、

最小人数は1人であった。回答のあった図書館の平均値は8.0人で、図書館によるばらつきが大きい。また、平成15年度以降の5年間に専門職の採用がない図書館も7館あった。

表3 専門職制度のある都道府県立図書館における過去10年間の専門職の採用実績

採用実績	図書館数	採用実績	図書館数	採用実績	図書館数
30人	1	12人	1	4人	3
20人	1	11人	1	3人	2
19人	1	10人	2	2人	5
18人	1	6人	1	1人	2
13人	1	5人	1	無回答	5

3.3 専門職の図書館以外の勤務先

表4は常勤の専門職が、公立図書館以外で多く勤務している場所である。

勤務先としてもっとも多いのは、当該地方自治体が設置する公立小中高等学校等の学校図書館であり、公立大学の附属図書館、教育委員会事務局が続いている。このほかに、博物館・文学館(11人(3館))、県議会図書室(4人(4館))、県文書館(4人(4館))、県教育センター(4人(2館))等が挙げられている。

なお、専門職制度がある都道府県立図書館28館のうち、公立図書館以外で勤務する専門職はいないと回答した図書館は5館(うち1館は把握していないと回答)である。

表4 公立図書館以外に勤務する常勤専門職数(勤務人数の多い勤務先)

勤務先	都道府県立図書館	市町村立図書館
小中高等学校の図書館	445人 (9館)	30人 (6館)
公立大学の附属図書館	23人 (11館)	2人 (2館)
教育委員会事務局	3人 (3館)	4人 (2館)

()内の数は、勤務があると回答した図書館の数。

3.4 図書館職員の採用方法と図書館の関与

表5は、図書館の専門的な業務を行う職員の採用方法に関する、自治体又は図書館の方針(具体的な方針等がない場合は、これまでの実績)である。

専門職制度のない自治体の中にも、図書館職員としての募集を行っているところがある一方、一般職として採用された職員の中から専門職を任命する自治体もある。なお、「その他」には、過去に図書館職員としての募集・採用があったが現在は募集していない(もっぱら行政職員の転任で補充)との回答が含まれている。

表5 図書館職員の採用方法（複数回答可）

採用の方法	専門職制のある図書館	専門職制のない図書館
図書館職員としての募集・採用試験がある	15 (54%) 13 (29%)	1 (7%) 3 (4%)
図書館職員としての募集がある。二次試験と同じ一次試験を行い、二次試験で図書館学に関する出題や面接がある	7 (25%) 11 (24%)	0 (0%) 0 (0%)
一般職としての採用者の中から、本人の希望を確認しつつ、司書有資格者を優先的に図書館に配置する	1 (4%) 10 (22%)	1 (7%) 18 (23%)
一般職の採用者の中から図書館に配置されるが、司書資格の有無、本人の希望等は考慮されない	1 (4%) 1 (24%)	3 (21%) 4 (53%)
その他・無回答	6 (21%) 0 (0%)	9 (64%) 16 (21%)

上段は都道府県立図書館、下段は市町村立図書館の数値。

表6は、専門的業務を行う職員を募集・採用する際に図書館が関与する度合いである。

問題作成や面接等に関与する図書館がある一方で、一般職の定員要求等とまったく同じ手順の自治体もある。なお、専門職制度のない図書館の中にも、問題作成や面接等に関与すると回答した図書館があった。

表6 職員採用における図書館の関与

図書館の関与の度合い	都道府県立図書館	市町村立図書館
募集、試験問題作成、面接、選考等に図書館が関与する	9 (21%)	4 (3%)
図書館長等が選考委員等の一員となって採用手続に参画する	2 (5%)	5 (4%)
図書館の希望を採用担当部局に提示し採用担当部局が実施	1 (2%)	9 (7%)
希望を提示する機会があるが、どの程度反映されるかは不明（又はあまり反映されない）	0 (0%)	11 (9%)
定員要求等の手順があるのみで、結果は異動時期まで不明	16 (38%)	68 (55%)
その他・無回答	14 (33%)	26 (21%)

表7 非常勤職員を採用する際の評価の観点

採用にあたっての観点	都道府県立図書館	市町村立図書館
図書館学に関する一定の知識を有することは採用の必要要件	9 (21%)	10 (8%)
図書館学の知識を有することは採用できわめて重要な評価点	5 (12%)	10 (8%)
図書館学の知識も評価するが、人柄などの方が重要な評価点	11 (26%)	28 (23%)
図書館学に関する知識は、あれば望ましい、という程度	5 (12%)	37 (37%)
採用する時によって異なる（担当業務毎に評価割合が異なる）	7 (17%)	10 (8%)
その他・無回答	5 (12%)	19 (15%)

表7は、図書館が非常勤職員を採用する際の評価の観点である。

市町村立図書館では、図書館学に関する知識を強く求める図書館は少なく、人柄などの方が重要な評価点と考えたり、図書館学に関する知識があれば望ましい程度とする回答が多い。

3.5 図書館以外の機関との人事異動

表8は、図書館の専門的業務に従事している職員がどのような場合に図書館外へ異動するかについてである。

専門職は、本人が希望しない限り図書館等に勤務するとした回答が多いが、一般職と同様とした回答もある。

表8 図書館職員の異動の方針

人事異動の方針	専門職として任命されている職員	司書有資格で専門職でない職員
本人の希望がない限り、退職までの間、原則として図書館（学校図書館等を含む）に勤務する	17 (61%) 19 (42%)	2 (6%) 3 (2%)
管理職登用などの節目に図書館外に異動する場合がある（一定の職務経験後に図書館の管理職となる）	2 (7%) 1 (2%)	0 (0%) 0 (0%)
管理職登用などの節目に図書館外に異動する場合がある（管理職となった後は一般行政職と同じ扱いとなる）	0 (0%) 6 (13%)	0 (0%) 4 (3%)
一定の勤務期間を経過したら図書館外に異動することが通例である（一定の職務経験後は図書館に復帰する）	1 (4%) 1 (2%)	2 (6%) 4 (3%)
一定の勤務期間を経過したら図書館外に異動することが通例である（その後は一般行政職と同じ扱いとなる）	0 (0%) 2 (4%)	6 (19%) 11 (9%)
図書館外への異動も普通にある（一般行政職と同じ扱いである）	2 (7%) 9 (20%)	12 (39%) 6 (50%)
その他・無回答	6 (21%) 7 (16%)	9 (29%) 3 (32%)

上段は都道府県立図書館、下段は市町村立図書館の数値。

（注）右欄は、該当者なし（司書有資格者はすべて専門職に任命されている）と回答した図書館（都道府県立図書館11館、市町村立図書館1館）を除いて集計している。

表9 図書館外から図書館への人事異動の方針

人事異動の方針	都道府県立図書館	市町村立図書館
司書資格を有する人で図書館勤務を希望する人が異動する	2 (5%)	3 (2%)
有資格者が異動するが、本人の希望は、あまり考慮されない	0 (0%)	9 (7%)
資格の有無に関係なく異動があるが、司書資格取得の機会がある（講習への派遣や通信教育受講費の補助制度等がある）	7 (17%)	7 (6%)
資格の有無に関係なく異動があり、司書資格取得の機会はない	20 (48%)	81 (66%)
その他・無回答	13 (31%)	23 (19%)

表9は、図書館以外の機関で勤務する職員が図書館に異動する場合に、自分の意思や司書資格がどの程度評価されるかについてである。

約7割の自治体が、司書資格の有無に関係なく図書館への異動を行うとしているが、講習への派遣や通信教育の受講など司書資格取得のための支援制度を有する図書館もある。

3.6 図書館業務に対する自己評価

表10は、図書館の様々な業務に係る司書有資格者の役割と実施状況の自己評価である。

表10 有資格者の役割と実施状況の自己評価

	有資格者が業務の中心になっている	業務量が多く業務が滞る場合がある	専門性の不足を感じる場合がある	業務分担が不明確・不適切である
図書館規則の制定、改正等	1 5 (36%) 3 1 (25%)	1 5	0 6	1 0
サービス計画の策定等	1 8 (43%) 3 7 (30%)	4 1 2	0 8	1 2
広報（視察対応等も含む）	1 9 (45%) 4 1 (33%)	1 7	0 1	2 2
図書館資料の選定、購入	2 9 (69%) 6 2 (50%)	5 1 3	0 1 5	0 1
資料の装備、目録作成・登録	2 6 (62%) 5 3 (43%)	9 1 9	0 0	0 2
日常的な排架や書架整理	2 5 (60%) 4 0 (33%)	7 1 9	1 0	0 1
カウンターでの貸出手続き	2 1 (50%) 4 1 (33%)	0 7	2 5	0 1
読書相談・読書案内・館内案内	2 4 (57%) 4 9 (40%)	3 1 1	1 1 6	0 3
レファレンスサービス	3 3 (79%) 6 3 (51%)	3 8	4 3 2	0 2
相互貸借の受付や依頼	2 7 (64%) 5 4 (44%)	2 1 3	0 3	0 2
学校、児童館等との連携	2 2 (52%) 5 1 (41%)	3 1 7	1 4	1 8
講座、研修会、展示会の実施	2 4 (57%) 4 4 (36%)	5 1 0	0 4	0 4
お話し会等の子ども向け行事	2 4 (57%) 4 9 (40%)	3 8	0 5	0 3
情報関連の講習会など	2 1 (50%) 1 7 (14%)	3 5	3 6	0 4

上段は都道府県立図書館、下段は市町村立図書館の数値。

図書館規則の制定等やサービス計画の策定、広報等については司書有資格者が中心となって行っている図書館の割合が低く一般職が大きな役割を担っていることが伺える。レファレンスサービスについては有資格者が業務の中心になっている割合が高く、かつ担当職員の専門性の不足を感じる図書館が多くあり、高度な専門性が期待されていることが分かる。また、資料の装備や目録の作成・登録、日常的な排架については、専門職が実施する割合が比較的高いが、業務量が多く業務が滞る場合もある。さらに、読書相談・読書案内、図書館資料の選定・購入、サービス計画の策定等については、専門性の不

足を感じる市町村立図書館が多く、都道府県立図書館の回答との差が大きい。

4 まとめと考察

現状では、地方公共団体の職員によって直接運営されている図書館が大半であるが、業務の外部委託や指定管理者制度の導入が行われているところもある。

また、一部の都道府県立図書館では職員採用に図書館が深く関与しているが、多くの市町村立図書館は関与していない実態が明らかになった。今後は、図書館業務の専門性を広く周知することで、図書館が必要とする人材を確保できるよう行政当局に積極的に働きかけていく必要がある。

図書館業務については、専門性の確保と業務の円滑な実施を図るため、業務内容や役割分担の再検討を進める必要があると考えられる。特に、都道府県立図書館と市町村立図書館の回答に差のあった読書相談・読書案内、図書館資料の選定・購入等の業務については、都道府県立図書館による市町村立図書館振興策の一環として積極的な支援が行われることが期待される。

5 今後の展開

引き続き、各図書館からの回答を分析し、現地調査等を行うことにより、各図書館が抱える課題等を明確にしていきたい。さらに、調査結果と各図書館の実施する図書館サービスの現状等を比較することで、効果的な図書館運営の方策、職員配置と業務分担のあり方などについて検証していくことを予定している。

参考文献

- 『社会教育調査報告書』文部科学省,2006.10
http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/001/index04.htm
(accessed 2007-9-5)
- 『日本の図書館 2006』日本図書館協会図書館調査事業委員会編, 2007,730p
- 『これからの図書館像』これからの図書館の在り方検討協力者会議(文部科学省),2006.3
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/18/04/06032701.htm
(accessed 2007-9-5)
- 『公立図書館の職員像 大阪府下公立図書館職員アンケート調査報告書』,日本図書館協会図書館員の問題調査研究委員会,日本図書館協会,1991, 142p
- 『図書館で働く非正規職員 大阪府下公立図書館調査報告書』,日本図書館協会図書館員の問題調査研究委員会非正規職員実態調査ワーキンググループ,日本図書館協会,1993,164p
- 『図書館年鑑 2006』日本図書館協会図書館年鑑編集委員会編, 2006,730p

「地域の協働ネットワークを基盤とする公共図書館サービス
モデルの構築に関する研究：地域を支える情報拠点として」
(筑波大学図書館情報メディア研究科プロジェクト研究)

「公立図書館職員の採用と業務内容に関する調査」 集計結果

(① 都道府県立図書館分)

平成21年3月3日

筑波大学大学院図書館情報メディア研究科
専任講師 濱田幸夫

【調査の概要】

1 調査の目的

全国の公立図書館における職員の採用方法及び業務内容の現状等を調査し分析、比較することによって、今後の公立図書館における業務改善の一助となるような提案を行うための基礎的なデータの収集を目的とする。

2 調査の対象

全国の公立図書館のうち、

- ① 全都道府県立図書館
- ② 秋田県、千葉県、石川県、兵庫県、広島県、宮崎県、沖縄県の市町村立図書館を対象（複数の図書館を設置する市町村については中央館等）に調査を行った。

3 調査の方法及び時期

方法： 郵送による質問紙調査を実施した。調査票の回収後、必要に応じ、電話及び訪問調査によって回答内容の確認・補足を行った。

時期： 質問紙調査については、平成19年7月12日（木）付で調査票を発送し、8月7日（木）を締切とした。電話及び訪問調査は、8月以降、適宜実施した。

4 調査項目

- 図書館で働いている人の類型及び人数
- 常勤職員の採用及び任命
- 常勤職員の図書館と外部機関との間の異動
- 非常勤（嘱託）職員や臨時職員の採用
- 図書館業務の実施状況
- その他

5 回答状況

① 都道府県立図書館 46館（調査対象： 47館 回収率97.9%）

② 市町村立図書館 152館（調査対象： 175館 回収率86.9%）

うち秋田県（16 / 18館） 千葉県（36 / 40館） 石川県（17 / 19館）

兵庫県（35 / 37館） 広島県（17 / 21館） 宮崎県（15 / 20館）

沖縄県（16 / 20館）

6 調査結果の公表等

本集計結果は調査対象ごとの2分冊で構成し、調査対象図書館等に配布するほか、ホームページ（<http://www.slis.tsukuba.ac.jp/~hamada/>）で公表する。

調査にご協力いただいた図書館

〔都道府県立図書館〕

北海道立図書館	青森県立図書館	岩手県立図書館
宮城県立図書館	秋田県立図書館	山形県立図書館
福島県立図書館	茨城県立図書館	栃木県立図書館
群馬県立図書館	埼玉県立浦和図書館	千葉県立中央図書館
神奈川県立図書館	新潟県立図書館	富山県立図書館
石川県立図書館	福井県立図書館	山梨県立図書館
県立長野図書館	岐阜県立図書館	静岡県立中央図書館
愛知県芸術文化センター-愛知県図書館	三重県立図書館	滋賀県立図書館
京都府立図書館	大阪府立中央図書館	兵庫県立図書館
奈良県立図書館情報館	和歌山県立図書館	鳥取県立図書館
島根県立図書館	岡山県立図書館	広島県立図書館
山口県立山口図書館	徳島県立図書館	香川県立図書館
愛媛県立図書館	高知県立図書館	福岡県立図書館
佐賀県立図書館	長崎県立長崎図書館	熊本県立図書館
大分県立図書館	宮崎県立図書館	鹿児島県立図書館
沖縄県立図書館		

○ 特に注釈のない限り、回答の数値は回答図書館数を示す。

なお、問2は、特に記述のない限り、調査対象に分館等を含めている。このため、回答総数は56館である。

〔1〕 図書館の運営形態について

問1 図書館の運営形態は何ですか。

ア 図書館の専門的業務はすべて直営	38
イ 図書館の専門的業務について一部は業務委託	7
ウ 図書館の専門的業務はすべて業務委託（管理業務等は直営）	0
エ 指定管理者制度等によりすべて外部事業者が実施	0
オ その他	1

○ 「オ」と回答した図書館の具体的回答

- ・業務の一部について派遣会社の社員が従事

（注）図書館の専門的業務とは、資料の収集・保存業務、各種利用者サービス業務、都道府県立図書館における市町村立図書館支援業務等を指し、施設の維持・管理、清掃等や単純な図書館資料の搬送業務等は除く。

また、問2は、専門的業務に従事する人に、図書館の総務、会計等に従事する人を加えた人を対象としている。

本調査では、司書及び司書補について、「司書等」としている。

〔2〕 図書館で働いている人の類型及び人数について

問2-1 図書館で働いている地方公共団体職員について記入してください。

- ① 常勤職員（司書職）
- ② 常勤職員（事務職等）
- ③ 地方公務員法第28条の4の規定に基づく再任用・再雇用職員
- ④ 地方公務員法第3条第3項第3号の規定に基づく非常勤（嘱託）職員
- ⑤ 地方公務員法第22条第2項又は第5項の規定に基づく臨時職員

○ 職員の人数

右の各区分の職員が何人いるか	①常勤司書職		②常勤事務職 司書等*		③再任用職員 司書等*		④非常勤職員 司書等*		⑤臨時職員 司書等*	
	0人	4	0	5	33	3	8	7	15	6
1～5人	4	9	18	8	4	17	13	28	25	
6～10人	14	17	8	0	0	15	16	5	2	
11～15人	9	5	3	0	0	5	1	2	1	
16～20人	4	13	0	0	0	5	4	0	0	
21～25人	7	5	0	0	0	2	2	1	0	
26～30人	2	5	0	0	0	0	1	0	0	
31～35人	1	0	0	0	0	1	1	0	0	
36～40人	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
41～45人	1	0	0	0	0	1	0	0	0	
46～50人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
51～55人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
56～60人	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
無回答	8	2	20	15	1	2	1	5	2	

(注) ②～⑤の各右欄「司書等*」は、当該区分の職員のうち、司書等有資格者のみを集計した数値で、左欄で1人以上の人数を回答した図書館を対象として集計した。以下、問2の各表において同じ。

(注) 「無回答」には、「不明」「把握していない」等の回答や該当者がいないために空欄にしたと考えられるものを含む。

○ 司書等有資格者の割合

	②常勤事務職	③再任用職員	④非常勤職員	⑤臨時職員
0%	25 (3)	4	8	8
1～25%	16 (4)	0	0	2
26～50%	11 (3)	1	4	5
51～75%	2	0	7	2
76～100%	0	3	27	19
無回答	0 (2)	0	0	0

(注) 上表の「職員の人数」において、1人以上の人数を回答した図書館を対象として集計した。以下、問2の各表において同じ。

(注) ②の()は、常勤司書職のいない図書館12館(上表で「①が0人」と回答した図書館及び無回答の図書館の合計)の状況を集計した数値である。

○ 一人・週当たり平均勤務時間

	③再任用職員	④非常勤職員	⑤臨時職員
16時間以下	1	6	4
17～24時間	2	4	4
25～32時間	3	27	4
33～40時間	2	5	21
40時間超	0	3	2
無回答	0	1	0

○ 職員の雇用契約期間と最長雇用期間（都道府県毎の集計）

契約期間・契約更新等による実質的雇用最長期間	③再任用職員	④非常勤職員	⑤臨時職員
2ヶ月・12ヶ月	0	0	1
4ヶ月・8ヶ月	0	0	2
6ヶ月・6ヶ月	0	0	1
6ヶ月・12ヶ月	0	0	11
6ヶ月・24ヶ月	0	0	1
6ヶ月・36ヶ月	0	0	2
6ヶ月・60ヶ月	0	0	1
6ヶ月・無回答	0	0	2
11ヶ月・11ヶ月	0	0	1
11ヶ月・33ヶ月	0	0	1
12ヶ月・12ヶ月	1	4	2
12ヶ月・36ヶ月	5	14	0
12ヶ月・60ヶ月	1	10	0
12ヶ月・132ヶ月	0	1	0
12ヶ月・期限なし	0	1	0
12ヶ月・無回答	1	7	1
14ヶ月・無回答	0	0	1
定めなし	0	0	1
無回答	0	1	2

○ 契約更新制限のない職員の有無

右の各区分の職員が何人いるか	③再任用職員		④非常勤職員		⑤臨時職員	
	可書等*	可書等*	可書等*	可書等*	可書等*	可書等*
0人	6	1	19	13	18	12
1～5人	1	0	5	1	2	3
6～10人	0	0	2	3	1	0
11人～	0	0	2	1	0	0
無回答	1	0	18	28	15	21

問2-2 図書館で働く外部事業者の社員（職員）について記入してください。

- ⑥ 当該事業者の終身雇用の正社員
- ⑦ 当該事業者の正社員で雇用期間の定めのある人
- ⑧ 当該事業者にアルバイト・パート等で雇用されている人

○ 外部事業者における雇用形態別の社員（職員）の人数

右の各区分の職員が何人いるか	⑥終身正社員		⑦有期正社員		⑧アルバイト		⑥～⑧の合計	
	司書等*		司書等*		司書等*		司書等*	
0人	25	1	26	0	21	6	21	0
1～5人	2	1	0	0	6	2	5	2
6～10人	1	0	0	0	3	1	3	1
11人以上	0	0	1	1	3	2	4	2
無回答	28	1	29	0	23	1	23	0

○ 司書等有資格者の割合

	⑥終身正社員	⑦有期正社員	⑧アルバイト
0%	1	0	5
1～25%	0	0	0
26～50%	0	0	0
51～75%	0	1	0
76～100%	1	0	1
無回答	1	0	4

○ 一人・週あたり平均勤務時間

	⑦有期正社員	⑧アルバイト
16時間以下	0	2
17～24時間	0	1
25～32時間	0	0
33～40時間	1	4
40時間超	0	1
無回答	0	2

問2-3 図書館に労働者派遣法に基づく派遣労働者はいますか。

問2-4 図書館ボランティアはいますか。

問2-5 上記以外に図書館で働いてる人はいますか。

○ 派遣労働者、ボランティア等の人数

		派遣労働者		ボランティア		それら以外	
			司書等*		司書等*		司書等*
いない		44	0	19	11	30	7
いる	1～5人	2	2	2	2	6	3
	6～10人	2	2	4	1	4	2
	11～15人	0	0	1	0	4	1
	16～20人	0	0	2	0	0	0
	21～30人	0	0	4	0	0	0
	31～40人	0	0	3	0	2	0
	41～50人	0	0	3	0	0	0
	50人以上	0	0	7	0	0	0
無回答		8	0	11	12	10	3

○ 司書等有資格者の割合

	派遣労働者	ボランティア	それら以外
0%	0	11	8
1～25%	0	2	2
26～50%	0	1	1
51～75%	0	0	1
76～100%	4	0	2
無回答	0	12	2

○ 一人・週当たり平均勤務時間

	派遣労働者	ボランティア	それら以外
16時間以下	0	2	0
17～24時間	0	1	0
25～32時間	0	0	0
33～40時間	1	4	0
40時間超	0	1	0
無回答	0	2	0

〔3〕 図書館に勤務する常勤職員の採用及び任命について

問3-1 司書及び司書補（以下、「司書等」という）について、専門職としての任命がありますか。

ア ある	32
イ 制度はあるが、現在、任命されている職員はいない	1
ウ ない（過去にもなかった、確認できる限り過去にもなかった）	4
エ 過去にあったが、現在は廃止された	8
オ その他	1

問3-2 問3-1で「ア」と回答した図書館にお聞きします。過去の採用等の実績を記入してください。

○ 過去10年間における司書等の専門職としての採用者数

1人	2	6人	1	18人	1
2人	6	10人	2	19人	2
3人	2	11人	1	20人	1
4人	3	12人	1	30人	1
5人	2	13人	2	無回答	5

○ 司書等の専門職としての採用があった最終年

平成19年	4	平成14年	1	平成9年	2
18年	6	13年	1	8年	0
17年	5	12年	1	7年	1
16年	1	11年	2	昭和55年	1
15年	0	10年	1	無回答	6

問3-3 問3-1で「ア」と回答した図書館にお聞きします。公立図書館以外で、司書等の専門職が配置されている勤務先はありますか。

○ 「配置されている勤務先」の回答

ア 公立学校	20
イ 公民館	0
ウ 博物館	3
エ 試験研究機関	1
オ その他	12
無回答（「なし」を含む）	21

（注）「ア」には県立大学（12県）の回答を含む。

○ 「その他」の具体的な回答

・ 議会図書室（議会事務局を含む）	4
・ 教育委員会社会教育・生涯学習主管課	3
・ 文書館、公文書館	3
・ 教育センター	2

○ 配置されている施設数と職員数

- ・ 県立高校85校に司書を配置（半数以上は非常勤職員）
- ・ 県立高校163校、県立大学1校
- ・ 学校168校170人と博物館4館4人
- ・ 県立高校、県立短大、県立大学に各1ずつ
- ・ 県立高校48校中42校・県立盲学校に1名ずつ（嘱託職員）
- ・ 公立学校15校15人、県立文学館4名、博物館1名
- ・ 県立文化センター文化情報センター4名はじめ12機関24名
- ・ 30施設30名

問3-4 図書館の専門的業務を行う職員の採用はどのようになっていますか。地方公共団体または図書館としての方針を、具体的な方針等がない場合は過去5年間程度の実績等を踏まえ回答してください。

ア 図書館職員としての募集・採用試験がある	16
イ 図書館職員としての募集がある。一般行政職と同じ一次試験（筆記試験等）を行い、二次試験（面接や専門分野の筆記試験等）で図書館学に関する出題がある	7
ウ 一般行政職としての採用者の中から、本人の希望を確認しつつ、司書有資格者を優先的に図書館に配置する	3
エ 一般行政職の採用者の中から図書館に配置されるが、司書資格の有無、本人の希望等は考慮されない	6
オ その他	12
無回答	4

（「ア」「ウ」「エ」の複数回答あり）

○「その他」の具体的な回答

- ・一般行政職の職員から、本人の希望に配慮しつつ配置される 2
- ・現在司書の新規採用はなく、学校事務職の採用者の中から図書館に異動する 2
- ・平成11年まで「ア」で実施したが、それ以降は新規募集がない
- ・県全体として採用を行っているが、司書として採用している
- ・一般行政職の採用者の中から図書館に配属されるが、人事は本庁で行っているため資格の有無や本人の希望を考慮しているか不明
- ・近年は職員採用がない

（「エ」の回答の補足）

- ・平成14年までは「イ」であったが、15年以降は「エ」である

問3-5 図書館の専門的業務を行う職員を新規に採用する場合、採用までの時点で図書館は選考に加わりませんか。

ア 募集、試験問題作成、面接、選考等に図書館が関与する	10
イ 図書館長や図書館職員が選考委員等の一員となって採用手続に参画する	4
ウ あらかじめ図書館の希望を採用担当部局に提示しておき、その方針に基づき採用担当部局が実施する	2
エ 図書館は採用担当部局に採用したい人材の能力等を提示する機会があるが、図書館の意向がどの程度反映されるかは不明（又は、図書館の意向はあまり反映されない）	0
オ 通常の定員要求等の手順があるのみで、採用者や異動による補充となるかなどは、異動時期の直前まで不明である	18
カ その他	8
無回答	5

（「ア」「オ」の複数回答あり）

○「その他」の具体的な回答

- ・試験問題のチェックのみ行う
- ・図書館はまったく関与しない

〔4〕常勤職員の図書館と外部機関との間の異動について

問4-1 図書館の専門的業務に従事している職員の異動はどのようになっていますか。過去10年程度の実績の説明としてみっともあてはまるものを選択してください。①専門職として任命された職員、②司書資格を有しているが専門職としては任命されていない職員、について回答してください。（専門職としての任命のない図書館については、②のみ回答してください。）

	①	②
ア 本人の希望がない限り、退職までの間、原則として図書館（問 3-3 の各施設や人事交流等による隣接自治体の図書館等を含む）に勤務する	23	2
イ 管理職登用などの節目に図書館外に異動する場合がある（一定の職務経験後に図書館の管理職となる）	2	0
ウ 管理職登用などの節目に図書館外に異動する場合がある（管理職となった後は一般行政職と同じ扱いとなり、図書館に復帰する保証はなくなる）	0	0
エ 一定の勤務期間を経過したら図書館外に異動することが通例である（一定の職務経験後は図書館に復帰する）	1	2
オ 一定の勤務期間を経過したら図書館外に異動することが通例である（一般行政職と同じ扱いとなり、図書館に復帰する保証はなくなる）	0	6
カ 図書館外への異動も普通にある（一般行政職と同じ扱いである）	3	14
キ その他	2	2
無回答	1	22

（注）①は問 3-1 で「ア」と回答した図書館、②は調査対象の全図書館を集計対象とした

○「その他」の具体的な回答

- ・勤務期間の長い職員については、学校への異動がある
- ・過去10年間にわたり、図書館外への異動の実績はなかった

○複数回答（集計上は両方に計上している）

- ・①で「ア」「イ」の複数回答、②で「エ」「オ」、「オ」「カ」の複数回答あり

問4-2 常勤地方公共団体職員の、図書館外から図書館への異動はどのようになっていきますか。過去5年間程度の実績の説明としてもっともあてはまるものを選択してください。

ア 司書資格を有する人で図書館勤務を希望する人が異動する	4
イ 司書資格を有する人が異動するが、本人の希望は、あまり考慮されない	0
ウ 司書資格の有無に関係なく異動があるが、司書資格取得の機会が与えられる（講習への派遣や通信教育受講費の補助制度等がある）	7
エ 司書資格の有無に関係なく異動があるが、司書資格取得の機会はない	22
オ その他	10
無回答	3

○「その他」の具体的な回答

- ・ 司書資格の有無にかかわらず図書館への異動があり得るが、管理部門に従事する 3
- ・ 該当者はいなかった

○ 複数回答（集計上は両方に計上している）

- ・ 教員からの異動については「イ」、一般行政職からの異動については「エ」

〔5〕非常勤（嘱託）職員や臨時職員の採用について

問5-1 非常勤（嘱託）職員や臨時職員の採用はどのようになっていますか。

ア 募集や選考を図書館が行う	33
イ 募集や選考を教育委員会が行う	0
ウ 募集や選考を教育委員会が行うが、図書館の希望は一定程度、反映される	4
エ 募集や選考を首長部局が行う	2
オ 募集や選考を首長部局が行うが、図書館の希望は一定程度、反映される	1
カ その他	8
無回答	0

○「その他」の具体的な回答

- ・教育委員会が募集する場合と図書館が募集する場合があるが選考は図書館が行う
- ・図書館が募集・内申し、選考・任命は教育委員会が行う
- ・非常勤職員等は採用していない
- ・図書館での勤務条件に教育委員会が募集、選考を行う

○複数回答（集計上は両方に計上している）

- ・非常勤職員（嘱託）は「ア」、臨時職員は「エ」
- ・非常勤職員（嘱託）は「ウ」、臨時職員は「エ」

問5-2 採用の際に試験等は実施しますか。

ア 図書館学に関する筆記試験を行う（筆記及び面接の両方を行う場合を含む）	9
イ 図書館学に関する口答試験、作文、面接等を行う	12
ウ 履歴書等で図書館学に関する知識の有無を判断する	12
エ 図書館学に関する知識は問わない	7
オ その他	11
無回答	1

○「その他」の具体的な回答

- ・有資格者を優先するよう首長部局にお願いしている
- ・職種により異なるが、面接のみか面接と作文により選考する

○複数回答（集計上は両方に計上している）

- ・非常勤職員（嘱託）は「ア」、臨時職員は「エ」
- ・非常勤職員（嘱託）は「ア」「ウ」、臨時職員は「エ」
- ・非常勤職員（嘱託）は「ウ」、臨時職員は「エ」
- ・「ア」「イ」「ウ」であり、採用条件により異なる

問5-3 選考にあたっての図書館学に関する知識とそれ以外の条件（面接での態度や図書館以外での職歴、人柄など）との評価割合はどうなっていますか。

ア	図書館学に関する一定の知識を持っていることが採用の必要要件	9
イ	図書館学に関する知識を持っていることは採用できわめて重要な評価点	5
ウ	図書館学に関する知識も評価するが、人柄などの方が重要な評価点	13
エ	人柄などの評価が中心であり、図書館学に関する知識については、あれば望ましい、という程度	5
オ	採用する時によって異なる（採用する職員ごとに具体的な担当業務が決まっており、その業務に応じて評価することになっている）	8
カ	その他	4
	無回答	3

○「その他」の具体的な回答

- ・明確な割合は決めていない

○複数回答（集計上は両方に計上している）

- ・非常勤職員（嘱託）は「ウ」、臨時職員は「エ」

○ その他、職員の採用や任命に関して課題となっていることがありましたら、自由記入欄に記入してください。

- ・近年は司書が退職しても新規採用が行われず、事務職の補充でまかなわれている
- ・日々雇用職員は、雇用期間が6ヶ月と短く、経験の蓄積にならない上、良い人材を集めにくく、指導や事務など職員の負担も大きい

〔6〕 図書館業務の実施状況について

問6-1 A～Nの業務（次ページ参照）は、(1)～(5)のどの人が担当していますか。
業務の分担として、もっとも当てはまる状況を、ア～オからそれぞれ選択して回答してください。

【図書館勤務者の分類】

- (1) 常勤職員
- (2) 再雇用職員、非常勤（嘱託）職員、臨時職員
- (3) 業務委託先の職員（社員）、派遣社員等
- (4) 図書館ボランティア
- (5) その他

【業務分担の分類】

- ア 当該業務の全体を実施する。（下記の「イ」及び「ウ」の業務の両方を行う。）
- イ 当該業務の責任者・調整役等の立場で、方針策定・基本的ルールの決定・企画立案・例外事象に対する判断等を実施を行う。（現場での実務は行わない。）
- ウ （「イ」の人の指示により）当該業務の現場での実務・サービスの実施・個別の書類や資料の作成等を中心となるを行う
- エ 「ウ」の人を支援する立場で現場での作業等の補助的な業務（講習会の会場整理を含む）を行う
- オ 当該業務は担当していない

問6-2 問6-1各業務について、業務の実施状況はどうか。

- ア 業務は適切に運営されている
- イ 担当する職員の状況に比べて業務量が多く、業務が滞る場合がある
- ウ 業務内容に専門的な知識が必要な場合があり、担当職員の専門性の不足を感じる場合がある
- エ 業務分担が不明確・不適切などで、業務が適切に実施されない場合がある
- オ 業務の内容や結果について評価や分析は行っていない
- カ その他

○「その他」の具体的な回答及び自由記入

- ・ 図書館として実施する事業の数は少ない
- ・ ITサポーターによる情報関連講習会を実施している
- ・ 行事内容の企画及び実施をボランティアが行い、施設等の手配を図書館職員が行う
- ・ 相互貸借については、他館への依頼を常勤職員が行い、他館からの依頼の処理を再雇用職員が実施している
- ・ ボランティアは古文書の索引データ作成の大半を実施している
- ・ 学校等との連携や情報検索講習会等は近年ほとんど実施していない

	(1) 常勤職員					(2) 再雇用職員等					(3) 委託先の職員					(4) ボランティア					(5) その他					問6-2					
	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
A 図書館規則の制定、改正等	38 10	1	0	0	0	0	0	0	1	23 1	0	0	0	0	11	0	0	0	0	19	0	0	0	0	2	35	1	2	1	3	1
B 図書館の基本計画、サービス計画の策定等	38 13	2	0	0	0	0	0	1	1	22 1	0	0	0	0	11	0	0	0	0	19	0	0	0	0	2	30	5	0	1	5	1
C 図書館広報の実施 <small>(自治体広報への原稿掲載や視察対応等も含む)</small>	39 15	0	1 1	0	0	1	0	3 1	6 1	16	1	0	0	0	11	0	0	0	0	19	0	0	0	0	2	33	2	1	2	3	1
D 図書館資料の選定、購入	39 27	0	1 1	0	0	0	0	2	4	20	0	0	0	0	11	0	0	0	0	19	0	0	0	0	2	31	6	1	0	3	1
E 納入された資料の確認、 装備や目録の作成・登録	36 23	2 1	1 1	0	0	2	0	15	8	5	1	0	3 2	0	8	0	0	1	2	17	0	0	1	0	1	27	10	1	0	3	1
F 新着本、返却本などの日常的な 排架や書架整理	32 20	3 2	1 1	1	1	5 2	0	22 13	6 1	3	2	0	5 3	0	6	1	0	2	14	9	0	0	1	1	0	27	9	1	1	3	1
G カウンターでの貸出手続き	30 14	6 4	1 1	1	1	5 1	0	23 11	5 2	3	2	0	3 2	1	7	0	0	0	0	19	0	0	1	1	0	35	0	2	1	3	1
H 読書相談・読書案内・館内案内	37 22	1	1 1	0	1	4 1	0	13 7	5 4	8	2	0	3 2	1	7	0	0	0	3	17	0	0	1	0	1	33	3	2	0	3	1
I レファレンスサービス	38 31	0	1 1	0	0	4 1	0	9 8	6 3	10	1	0	0	0	11	0	0	0	0	19	0	0	0	0	2	30	4	4	0	3	1
J 相互貸借の受付、他図書館への 依頼	38 25	1	1 1	0	0	3 1	0	13 7	9 4	9	0	0	1	0	11	0	0	0	0	19	0	0	0	0	2	35	2	1	0	3	1
K 学校、児童館等と連携して 行う図書館サービスの実施	33 19	1	1 1	0	3	1 1	0	3 2	9 4	13	0	0	1	1	10	0	0	0	0	19	0	0	0	0	2	24	3	2	1	5	2
L 図書館が主催する講座、 研修会、展示会等の実施	39 20	1	1 1	0	0	3 1	0	6 3	11 6	9	0	0	2	0	10	0	0	0	2	17	0	0	0	0	2	32	5	1	0	3	1
M 図書館が主催するお話し 会等の子ども向け行事の実施	34 22	1	1 1	0	0	2 1	0	11 7	8 3	7	1	0	0	0	11	3	0	9 1	6	4	0	0	0	0	2	32	3	1	0	3	1
N 図書館が主催する情報検索講習会、 インターネット利用講習会など、 情報関連の行事の実施	34 19	0	1 1	0	4	1 1	0	4 3	4 2	16	0	0	3	0	9	1	0	1	1	16	0	0	0	0	2	26	4	4	0	3	2

(注) 各欄の下段の斜字体の数字は、司書等の資格を有する人が中心となって当該業務を行っているという回答した図書館数である。

○ その他、日常の図書館業務の実施にあたり課題となっていることがありましたら、自由記入欄に記入してください。

- ・ 非常勤職員、臨時職員は正規職員の業務補助の位置づけであるが業務を分割して分担できるか考慮している
- ・ 常勤職員と非常勤職員は日常業務では同じ内容の業務を行っている
- ・ 財政状況が厳しく資料購入予算の確保が課題となっている
- ・ 年度末に各担当業務ごとの反省と課題の整理を行っている

公立図書館職員の採用と業務内容に関する調査

質問票

〔1〕 図書館の運営形態について

問1 図書館の運営形態は何ですか。

- ア 図書館の専門的業務はすべて直営
- イ 図書館の専門的業務について一部は業務委託
- ウ 図書館の専門的業務はすべて業務委託（管理業務等は直営）
- エ 指定管理者制度等によりすべて外部事業者が実施
- オ その他 →具体的な形態を回答用紙に記入してください

〔注1〕問1で、「ウ」又は「エ」と回答した図書館の方へ

回答用紙の自由記入欄に、①業務受託事業者の名称と事業所所在地、②本件及び業務・委託契約の内容等について照会する場合の連絡先（図書館、受託事業者、教育委員会など）を記入してください。（本調査票の問2以降の回答は不要です。）

〔注2〕図書館の専門的業務とは、

資料の収集・保存業務、各種利用者サービス業務、都道府県立図書館における市町村立図書館支援業務等を指します。また、施設の維持・管理、清掃等や単純な図書館資料の搬送業務等は除きます。

〔2〕 図書館で働いている人の類型及び人数について

〔注1〕問1〔注2〕に示す図書館の専門的業務に従事する人に、図書館の総務、会計等に従事する人を加えた人を対象として、本年7月1日現在の数値を記入してください。

〔注2〕複数の図書館が設置されている場合は、中央館等の数値を回答用紙1枚目に、それ以外の図書館の数値を回答用紙2枚目に回答してください。

〔注3〕「勤務時間計」欄には、該当する人全員分の1週間あたりの勤務時間の合計を記入してください。

〔注4〕問2-3について、業務委託先の社員（職員）が図書館に出向いて働く場合に「派遣職員」などという呼び方をする図書館がありますが、業務委託契約に基づく社員等は問2-2に含めてください。

問2-1 図書館で働いている地方公共団体職員について記入してください。

- ① 常勤職員（司書職）（ ）人
- ② 常勤職員（事務職等）（ ）人 うち司書等有資格者（ ）人
- ③ 地方公務員法第28条の4の規定に基づく再任用・再雇用職員
・（ ）人 うち司書等有資格者（ ）人 勤務時間計（ ）時間
・再任用職員の雇用契約期間（ ）ヶ月 契約更新等による実質的雇用最長期間（ ）ヶ月
・契約更新制限のない再任用職員がいるか・・・ いれば、（ ）人 うち有資格者（ ）人
- ④ 地方公務員法第3条第3項第3号の規定に基づく非常勤（嘱託）職員
・（ ）人 うち司書等有資格者（ ）人 勤務時間計（ ）時間
・非常勤職員の雇用契約期間（ ）ヶ月 契約更新等による実質的雇用最長期間（ ）ヶ月
・契約更新制限のない非常勤職員がいるか・・・ いれば、（ ）人 うち有資格者（ ）人
- ⑤ 地方公務員法第22条第2項又は第5項の規定に基づく臨時職員
・（ ）人 うち司書等有資格者（ ）人 勤務時間計（ ）時間
・臨時職員の雇用契約期間（ ）ヶ月 契約更新等による実質的雇用最長期間（ ）ヶ月
・契約更新制限のない臨時職員がいるか・・・ いれば、（ ）人 うち有資格者（ ）人

問2-2 図書館で働く外部事業者の社員（職員）について記入してください。

〔注〕すべての欄に記入できない場合でも可能な範囲で数値を記入してください。

- ⑥ 当該事業者の終身雇用の正社員（ ）人 うち司書等有資格者（ ）人
- ⑦ 当該事業者の正社員で雇用期間の定めのある人
（ ）人 うち司書等有資格者（ ）人 勤務時間計（ ）時間
- ⑧ 当該事業主にアルバイト・パート等で雇用されている人
（ ）人 うち司書等有資格者（ ）人 勤務時間計（ ）時間
- ⑨ ⑥～⑧の合計 総数（ ）人 うち司書等有資格者（ ）人 勤務時間計（ ）時間

問2-3 図書館に労働者派遣法に基づく派遣労働者はいますか。

いない ・ いる（ ）人 うち司書等有資格者（ ）人 勤務時間計（ ）時間

問2-4 図書館ボランティアはいますか。

いない ・ いる（ ）人 うち司書等有資格者（ ）人 勤務時間計（ ）時間

問2-5 上記以外に図書館で働いている人はいますか

いない ・ いる →どういふ立場の人か、その人数など、具体的に記入してください

〔3〕図書館に勤務する常勤職員の採用及び任命について

問3-1 司書及び司書補（以下、「司書等」という）について、専門職としての任命がありますか。

- ア ある
- イ 制度はあるが、現在、任命されている職員はいない
- ウ ない（過去にもなかった、確認できる限り過去にもなかった）
- エ 過去にあったが、現在は廃止された
- オ その他 →具体的に記入してください

問3-2 問3-1で「ア」と回答した図書館にお聞きします。過去の採用等の実績を記入してください。（過去10年間の募集人数、応募人数、採用人数、及び事務職等から異動して司書等として任命された人数を、各年度ごとに記入してください。なお、過去10年間にまったく採用等がない場合は、最新の実績について記入してください。）

問3-3 問3-1で「ア」と回答した図書館にお聞きします。公立図書館以外で、司書等の専門職が配置されている勤務先はありますか。該当するものを選択し、ア、イについては施設数と配置職員数を、ウ、エ、オについては、具体的な施設名と配置職員数を記入してください。

- ア 公立学校
- イ 公民館
- ウ 博物館
- エ 試験研究機関
- オ その他 →具体的に記入してください

問3-4 図書館の専門的業務を行う職員の採用はどのようになっていますか。地方公共団体または図書館としての方針を、具体的な方針等がない場合は過去5年間程度の実績等を踏まえ回答してください。

- ア 図書館職員としての募集・採用試験がある
- イ 図書館職員としての募集がある。一般行政職と同じ一次試験（筆記試験等）を行い、二次試験（面接や専門分野の筆記試験等）で図書館学に関する出題がある
- ウ 一般行政職としての採用者の中から、本人の希望を確認しつつ、司書有資格者を優先的に図書館に配置する
- エ 一般行政職の採用者の中から図書館に配置されるが、司書資格の有無、本人の希望等は考慮されない
- オ その他 →具体的に記入してください

問3-5 図書館の専門的業務を行う職員を新規に採用する場合、採用までの時点で図書館は選考に加わりませんか。

- ア 募集、試験問題作成、面接、選考等に図書館が関与する
→図書館が関与する具体的な業務を記入してください
- イ 図書館長や図書館職員が選考委員等の一員となって採用手続に参画する
- ウ あらかじめ図書館の希望を採用担当部局に提示しておき、その方針に基づき採用担当部局が実施する
- エ 図書館は採用担当部局に採用したい人材の能力等を提示する機会があるが、図書館の意向がどの程度反映されるかは不明（又は、図書館の意向はあまり反映されない）
- オ 通常の定員要求等の手順があるのみで、採用者や異動による補充となるかなどは、異動時期の直前まで不明である
- カ その他 →具体的に記入してください

〔4〕常勤職員の図書館と外部機関との間の異動について

問4-1 図書館の専門的業務に従事している職員の異動はどのようになっていますか。過去10年程度の実績の説明としてもっともあてはまるものを選択してください。①専門職として任命された職員、②司書資格を有しているが専門職としては任命されていない職員、について回答してください。（専門職としての任命のない図書館については、②のみ回答してください。）

- ア 本人の希望がない限り、退職までの間、原則として図書館（問3-3の各施設や人事交流等による隣接自治体の図書館等を含む）に勤務する
- イ 管理職登用などの節目に図書館外に異動する場合がある（一定の職務経歴後に図書館の管理職となる）
- ウ 管理職登用などの節目に図書館外に異動する場合がある（管理職となった後は一般行政職と同じ扱いとなり、図書館に復帰する保証はなくなる）
- エ 一定の勤務期間を経過したら図書館外に異動することが通例である（一定の職務経歴後は図書館に復帰する）
- オ 一定の勤務期間を経過したら図書館外に異動することが通例である（一般行政職と同じ扱いとなり、図書館に復帰する保証はなくなる）
- カ 図書館外への異動も普通にある（一般行政職と同じ扱いである）
- キ その他 →具体的に記入してください

問4-2 常勤地方公共団体職員の、図書館外から図書館への異動はどのようになっていますか。過去5年間程度の実績の説明としてもっともあてはまるものを選択してください。

- ア 司書資格を有する人で図書館勤務を希望する人が異動する
- イ 司書資格を有する人が異動するが、本人の希望は、あまり考慮されない
- ウ 司書資格の有無に関係なく異動があるが、司書資格取得の機会が与えられる（講習への派遣や通信教育受講費の補助制度等がある）
- エ 司書資格の有無に関係なく異動があるが、司書資格取得の機会はない
- オ その他 →具体的に記入してください

〔5〕非常勤（嘱託）職員や臨時職員の採用について

問5-1 非常勤（嘱託）職員や臨時職員の採用はどのようになっていますか。

- ア 募集や選考を図書館が行う
- イ 募集や選考を教育委員会が行う
- ウ 募集や選考を教育委員会が行うが、図書館の希望は一定程度、反映される
- エ 募集や選考を首長部局が行う
- オ 募集や選考を首長部局が行うが、図書館の希望は一定程度、反映される
- カ その他 →具体的に記入してください

問5-2 採用の際に試験等は実施しますか。

- ア 図書館学に関する筆記試験を行う（筆記及び面接の両方を行う場合を含む）
- イ 図書館学に関する口答試験、面接等を行う
- ウ 履歴書等で図書館学に関する知識の有無を判断する
- エ 図書館学に関する知識は問わない
- オ その他 →具体的に記入してください

問5-3 選考にあたっての図書館学に関する知識とそれ以外の条件（面接での態度や図書館以外での職歴、人柄など）との評価割合はどうなっていますか。

- ア 図書館学に関する一定の知識を持っていることが採用の必要要件
- イ 図書館学に関する知識を持っていることは採用できわめて重要な評価点
- ウ 図書館学に関する知識も評価するが、人柄などの方が重要な評価点
- エ 人柄などの評価が中心であり、図書館学に関する知識については、あれば望ましい、という程度
- オ 採用する時によって異なる（採用する職員ごとに具体的な担当業務が決まっており、その業務に応じて評価することになっている）
- カ その他 →具体的に記入してください

○ その他、職員の採用や任命に関して課題となっていることがありましたら、自由記入欄に記入してください。

〔6〕図書館業務の実施状況について

問6-1 A～Nの各業務は、(1)～(5)のどの人が担当していますか。業務の分担として、もっとも当てはまる状況を、ア～オからそれぞれ選択して回答してください。

なお、司書等の資格を有する人が中心となって当該業務を行っている場合は、㊸など、「O」をつけて回答してください。

【図書館勤務者の分類】

- (1) 常勤職員
- (2) 再雇用職員、非常勤（嘱託）職員、臨時職員
- (3) 業務委託先の職員（社員）、派遣社員等
- (4) 図書館ボランティア
- (5) その他（具体的に記入）

【具体的な業務の種類】

- A 図書館規則の制定、改正等
- B 図書館の基本計画、サービス計画の策定等
- C 図書館広報の実施（自治体広報への原稿掲載や視察対応等も含む）
- D 図書館資料の選定、購入
- E 納入された資料の確認、装備や目録の作成・登録
- F 新着本、返却本などの日常的な排架や書架整理
- G カウンターでの貸出手続き
- H 読書相談・読書案内・館内案内
- I レファレンスサービス
- J 相互貸借の受付、他図書館への依頼
- K 学校、児童館等と連携して行う図書館サービスの実施
- L 図書館が主催する講座、研修会、展示会等の実施
- M 図書館が主催するお話会等の子ども向け行事の実施
- N 図書館が主催する情報検索講習会、インターネット利用講習会など、情報関連の行事の実施

【業務分担の分類】

- ア 当該業務の全体を実施する。（下記の「イ」及び「ウ」の業務の両方を行う。）
- イ 当該業務の責任者・調整役等の立場で、方針策定・基本的ルールの決定・企画立案・例外事象に対する判断等を実施を行う。（現場での実務は行わない。）
- ウ 「イ」の人の指示により）当該業務の現場での実務・サービスの実施・個別の書類や資料の作成等を中心となって行う
- エ 「ウ」の人を支援する立場で現場での作業等の補助的な業務（講習会の会場整理を含む）を行う
- オ 当該業務は担当していない

【問6-1の記入上の注意】

- ・業務分担は、通常の場合を前提に回答してください。（業務多忙時や職員の一部のみが出勤する休日等に業務を分担することがあり得る場合などは含めずに回答してください。）
- ・当該業務について、誰が担当するかは決まっておらず、その時々を実施可能な人が実施しているような場合についても、実施する可能性のある選択肢ア～オのいずれかを記入してください。また、中央館等とそれ以外の館で担当が異なる場合は、中央館等の状況を回答してください。（必要に応じ、自由記入欄に記入してください。）
- ・当該業務を、他の機関の職員や外部の会社等が実施している場合（併設公民館の職員が実施している場合など）は自由記入欄に記入してください。

【記入例】

- ・カウンターでの貸出手続きについて、常勤職員の司書が作業手順の決定等を行い、カウンターでの業務を臨時職員と有資格の図書館ボランティアが行う場合

	G
(1)	㊸
(2)	ウ
(3)	オ
(4)	㊸
(5)	

← (3) に該当する人がいるが当該業務は担当していない場合は「オ」を記入（空欄にしない）

← (5) に該当する人が図書館にいない（問2で0人又は「いない」と回答）場合は空欄

問6-2 問6-1のA～Nの各業務について、業務の実施状況はどうですか。

- ア 業務は適切に運営されている
- イ 担当する職員の状況に比べて業務量が多く、業務が滞る場合がある
- ウ 業務内容に専門的な知識が必要な場合があり、担当職員の専門性の不足を感じる場合がある
- エ 業務分担が不明確・不適切などで、業務が適切に実施されない場合がある
- オ 業務の内容や結果について評価や分析は行っていない
- カ その他 →具体的に記入してください

○ その他、日常の図書館業務の実施にあたり課題となっていることがありましたら、自由記入欄に記入してください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

（平成19年8月7日（火）までにメール、ファクシミリ又は郵送でご回答ください。）

筑波大学 図書館情報メディア研究科専任講師	From : (図書館名)	(都道府県名)
濱田 幸夫 宛	(担当者氏名)	(課係名・役職)
(Fax _____)	(電話)	(Fax)

公立図書館職員の採用と業務内容に関する調査回答用紙

問1 ーウ、エの場合は注1を参照

問2-1

	①	②	③	④	⑤
人数					
うち有資格者					
勤務時間計					
雇用契約期間					
最長契約期間					
更新制限なし人数					
うち有資格者					

問2-2

	⑥	⑦	⑧	⑨
人数				
うち有資格者				
勤務時間計				

問2-3～問2-5

	問2-3	問2-4	問2-5
いる	いない	いない	いない
人数			
うち有資格者			
勤務時間計			

問3

問3-1	問3-2
問3-4	
問3-5	

問3-3 アイウエオ

--

問4・問5

問4-1(1) 件命あり	問4-1(2) 件命なし	問4-2	問5-1	問5-2	問5-3

問6

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
(1)														
(2)														
(3)														
(4)														
(5)														
問6-2														

問1、問2、問3に関する自由記入欄

問4、問5に関する自由記入欄

問6に関する自由記入欄

公立図書館職員の採用と業務内容に関する調査回答用紙

複数の図書館が設置されている場合のみ記入して返送してください。

(回答図書館名)
(都道府県名)

図書館(分館等)名

問2-1

	①	②	③	④	⑤
人数					
うち有資格者					
勤務時間計					
雇用契約期間					
最長契約期間					
更新制限なし人数					
うち有資格者					

図書館(分館等)名

問2-1

	①	②	③	④	⑤
人数					
うち有資格者					
勤務時間計					
雇用契約期間					
最長契約期間					
更新制限なし人数					
うち有資格者					

図書館(分館等)名

問2-1

	①	②	③	④	⑤
人数					
うち有資格者					
勤務時間計					
雇用契約期間					
最長契約期間					
更新制限なし人数					
うち有資格者					

問2-2

	⑥	⑦	⑧	⑨
人数				
うち有資格者				
勤務時間計				

問2-3～問2-5

	問2-3	問2-4	問2-5
いる	いない	いない	いない
人数			
うち有資格者			
勤務時間計			

問2-2

	⑥	⑦	⑧	⑨
人数				
うち有資格者				
勤務時間計				

問2-3～問2-5

	問2-3	問2-4	問2-5
いる	いない	いない	いない
人数			
うち有資格者			
勤務時間計			

問2-2

	⑥	⑦	⑧	⑨
人数				
うち有資格者				
勤務時間計				

問2-3～問2-5

	問2-3	問2-4	問2-5
いる	いない	いない	いない
人数			
うち有資格者			
勤務時間計			

「地域の協働ネットワークを基盤とする公共図書館サービス
モデルの構築に関する研究：地域を支える情報拠点として」
(筑波大学図書館情報メディア研究科プロジェクト研究)

「公立図書館職員の採用と業務内容に関する調査」 集計結果

(② 市町村立図書館分)

平成21年3月3日

筑波大学大学院図書館情報メディア研究科
専任講師 濱田幸夫

【調査の概要】

1 調査の目的

全国の公立図書館における職員の採用方法及び業務内容の現状等を調査し分析、比較することによって、今後の公立図書館における業務改善の一助となるような提案を行うための基礎的なデータの収集を目的とする。

2 調査の対象

全国の公立図書館のうち、

- ① 全都道府県立図書館
- ② 秋田県、千葉県、石川県、兵庫県、広島県、宮崎県、沖縄県の市町村立図書館を対象（複数の図書館を設置する市町村については中央館等）に調査を行った。

3 調査の方法及び時期

方法： 郵送による質問紙調査を実施した。調査票の回収後、必要に応じ、電話及び訪問調査によって回答内容の確認・補足を行った。

時期： 質問紙調査については、平成19年7月12日（木）付で調査票を発送し、8月7日（木）を締切とした。電話及び訪問調査は、8月以降、適宜実施した。

4 調査項目

- 図書館で働いている人の類型及び人数
- 常勤職員の採用及び任命
- 常勤職員の図書館と外部機関との間の異動
- 非常勤（嘱託）職員や臨時職員の採用
- 図書館業務の実施状況
- その他

5 回答状況

① 都道府県立図書館 46館（調査対象： 47館 回収率97.9%）

② 市町村立図書館 152館（調査対象： 175館 回収率86.9%）

うち秋田県（16 / 18館） 千葉県（36 / 40館） 石川県（17 / 19館）

兵庫県（35 / 37館） 広島県（17 / 21館） 宮崎県（15 / 20館）

沖縄県（16 / 20館）

6 調査結果の公表等

本集計結果は調査対象ごとの2分冊で構成し、調査対象図書館等に配布するほか、ホームページ（<http://www.slis.tsukuba.ac.jp/~hamada/>）で公表する。

調査にご協力いただいた図書館

〔秋田県〕

秋田市立中央図書館明徳館	大館市立中央図書館	潟上市図書館	鹿角市立花輪図書館
北秋田市鷹巣図書館	仙北市田沢湖図書館	大仙市立大曲図書館	にかほ市立図書館 こびあ
能代市立図書館	湯沢市立湯沢図書館	由利本荘市本荘図書館	横手市立雄物川図書館
羽後町立図書館	上小阿仁村立図書館	小坂町立小坂図書館	八郎潟町立図書館

〔千葉県〕

旭市図書館	我孫子市民図書館	市川市中央図書館	市原市立中央図書館
印西市立大森図書館	浦安市中央図書館	柏市立図書館	勝浦市立図書館
鎌ヶ谷市立図書館	鴨川市立図書館	木更津市立図書館	山武市成東図書館
白井市立図書館	匝瑳市立八日市場図書館	袖ヶ浦市立中央図書館	館山市図書館
千葉市中央図書館	銚子市公正図書館	東金市立東金図書館	富里市立図書館
流山市立中央図書館	習志野市立大久保図書館	成田市立図書館	野田市立興風図書館
船橋市中央図書館	松戸市立図書館	南房総市千倉図書館	茂原市立図書館
八街市立図書館	八千代市立大和田図書館	印旛村立図書館	大網白里町図書室
大多喜町立大多喜図書館天賞文庫	酒々井町立図書館	東庄町図書館	横芝光町立図書館

〔石川県〕

加賀市立中央図書館	金沢市立玉川図書館	かほく市立七塚図書館	小松市立図書館
珠洲市立中央図書館	七尾市立中央図書館	能美市立寺井図書館	白山市立松任図書館
輪島市立図書館	穴水町立図書館	内灘町立図書館	川北町立図書館
志賀町立図書館	津幡町立図書館	能登町立中央図書館	野々市町立図書館
宝達志水町立志雄図書館			

〔兵庫県〕

相生市立図書館	明石市立図書館	赤穂市立図書館	朝来市和田山図書館
芦屋市立図書館	尼崎市立中央図書館	淡路市立津名図書館	伊丹市立図書館
小野市立図書館	加古川市立中央図書館	加西市立図書館	加東市中央図書館
川西市立中央図書館	神戸市立中央図書館	篠山市立中央図書館	三田市立図書館
宍粟市立図書館	洲本市立洲本図書館	宝塚市立中央図書館	たつの市立龍野図書館
豊岡市立図書館	西宮市立中央図書館	西脇市図書館	姫路市立城内図書館
三木市立図書館	南あわじ市三原図書館	いちかわ図書館	猪名川町立図書館
稲美町立図書館	佐用町立図書館	新温泉町立力藤文太郎記念図書館	太子町立図書館
多可町図書館	播磨町立図書館	福崎町立図書館	

〔広島県〕

安芸高田市立吉田図書館	大竹市立図書館	尾道市立中央図書館	呉市中央図書館
庄原市立図書館	市立竹原書院図書館	はつかいち市民図書館	東広島市立中央図書館
広島市立中央図書館	福山市民図書館	府中市立図書館	三原市立中央図書館
三次市立図書館	海田町立図書館	熊野町立図書館	神石高原町立ルビカレッジ図書館
世羅町世羅図書館			

〔宮崎県〕

えびの市民図書館	串間市立図書館	小林市立図書館	西都市立図書館
日南市立図書館	延岡市立図書館	日向市立図書館	都城市立図書館
宮崎市立図書館	門川町立図書館	川南町立図書館	北郷町立図書館
高千穂町立図書館	町立高鍋図書館	都農町民図書館	

〔沖縄県〕

石垣市立図書館	浦添市立図書館	うるま市立中央図書館	沖縄市立図書館
宜野湾市民図書館	豊見城市立中央図書館	那覇市立中央図書館	南城市立知念図書館
宮古島市立平良図書館	金武町立図書館	多良間村立図書館	北谷町立図書館
渡名喜村立中央図書館	西原町立図書館	本部町立図書館	読谷村立図書館

○ 特に注釈のない限り、回答の数値は回答図書館数を示す。

なお、問2は、特に記述のない限り、調査対象に分館等を含めている。このため、回答総数は合計313館（内訳：秋田県28館、千葉県106館、石川県28館、兵庫県78館、広島県34館、宮崎県15館、沖縄県24館）である。

〔1〕 図書館の運営形態について

問1 図書館の運営形態は何ですか。

	秋田	千葉	石川	兵庫	広島	宮崎	沖縄	合計
図書館の専門的業務はすべて直営	12	32	15	23	12	9	14	117
図書館の専門的業務について一部は業務委託	2	2	1	6	2	2	1	16
図書館の専門的業務はすべて業務委託（管理業務等は直営）	0	0	0	1	2	3	0	6
指定管理者制度等によりすべて外部事業者が実施	0	0	0	2	1	1	0	4
その他	1	0	0	1	0	0	0	2
無回答	1	2	1	2	0	0	1	7

（注）図書館の専門的業務とは、資料の収集・保存業務、各種利用者サービス業務、都道府県立図書館における市町村立図書館支援業務等を指し、施設の維持・管理、清掃等や単純な図書館資料の搬送業務等は除く。

また、問2は、専門的業務に従事する人に、図書館の総務、会計等に従事する人を加えた人を対象としている。

本調査では、司書及び司書補について、「司書等」としている。

〔2〕 図書館で働いている人の類型及び人数について

問2-1 図書館で働いている地方公共団体職員について記入してください。

- ① 常勤職員（司書職）
- ② 常勤職員（事務職等）
- ③ 地方公務員法第28条の4の規定に基づく再任用・再雇用職員
- ④ 地方公務員法第3条第3項第3号の規定に基づく非常勤（嘱託）職員
- ⑤ 地方公務員法第22条第2項又は第5項の規定に基づく臨時職員

【常勤職員（司書職）】

○ 職員の人数

	秋田	千葉	石川	兵庫	広島	宮崎	沖縄	合計
0人	4	25	5	6	13	4	3	60
1～5人	8	35	19	45	6	5	16	134
6～10人	0	14	2	6	1	1	1	25
11～15人	0	2	0	0	0	0	1	3
16～20人	0	1	0	0	0	1	0	2
21～25人	0	2	0	0	1	0	0	3
26～30人	0	0	0	1	0	0	0	1
無回答	16	27	2	20	13	4	3	85

（注）「無回答」には、「不明」「把握していない」等の回答や該当者がいないために空欄にしたと考えられるものを含む。以下、問2の各表において同じ。

【常勤職員（事務職等）】

○ 職員の人数

	秋田		千葉		石川		兵庫		広島		宮崎		沖縄		合計	
	人	司書	人	司書												
0人	1	8	34	29	3	13	12	13	4	11	1	6	1	12	56	92
1～5人	22	11	54	30	20	4	29	21	19	12	8	3	17	5	169	86
6～10人	1	0	6	6	0	0	10	2	2	0	2	0	3	0	24	8
11～15人	0	0	9	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	12	0
16～20人	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0
21～25人	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
26～30人	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
無回答	4	4	1	6	3	5	26	4	7	0	4	1	3	3	48	23

(注) 各右欄「司書」は、当該区分の職員のうち、司書等有資格者のみを集計した数値で、左欄で1人以上の人数を回答した図書館を対象として集計した。以下、問2の各表において同じ。

○ 司書有資格者の割合

	秋田	千葉	石川	兵庫	広島	宮崎	沖縄	合計
0%	9(6)	63(15)	16(5)	25(2)	15(10)	7(2)	13(3)	148(43)
1～25%	1	11(1)	3	9(3)	3	1	2(1)	30(5)
26～50%	7(7)	13(9)	1	7(2)	7(7)	1(1)	2(1)	38(27)
51～75%	0	5(4)	0	2(2)	0	0	0	7(6)
76～100%	3(3)	7(6)	0	5(3)	2(2)	1(1)	1	19(15)
無回答	8(4)	7(17)	8(2)	30(14)	7(7)	5(4)	6(1)	71(49)

(注) 上表「職員の人数」において、1人以上の人数を回答した図書館を対象として集計した。以下、問2の各表において同じ。

(注) () は、常勤司書職がない図書館（「常勤職員（司書職）」の回答で「0人」と回答した図書館及び無回答の図書館の合計）の状況を集計した数値である。

【地方公務員法第28条の4の規定に基づく再任用・再雇用職員】

○ 職員の人数

	秋田		千葉		石川		兵庫		広島		宮崎		沖縄		合計	
	司書	司書														
0人	10	0	86	10	17	1	36	2	21	0	7	1	10	0	187	14
1～5人	0	0	12	2	1	0	3	1	0	0	1	0	0	0	17	3
6～10人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	18	0	8	0	10	0	39	0	13	0	7	0	14	0	109	0

○ 司書等有資格者の割合

	秋田	千葉	石川	兵庫	広島	宮崎	沖縄	合計
0%	0	10	1	2	0	1	0	14
1～25%	0	0	0	0	0	0	0	0
26～50%	0	2	0	1	0	0	0	3
51～75%	0	0	0	0	0	0	0	0
76～100%	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0

○ 一人・週あたり平均勤務時間

	秋田	千葉	石川	兵庫	広島	宮崎	沖縄	合計
16時間以下	0	3	0	0	0	1	0	4
17～24時間	0	4	0	0	0	0	0	4
25～32時間	0	0	0	3	0	0	0	3
33～40時間	0	5	0	0	0	0	0	5
40時間超	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	1	0	0	0	0	1

○ 職員の雇用契約期間と最長雇用期間（市町村毎の集計）

契約・契約更新等による 期間 実質的雇用最長期間	秋田	千葉	石川	兵庫	広島	宮崎	沖縄	合計
12ヶ月・12ヶ月	0	1	0	2	0	0	0	3
12ヶ月・24ヶ月	0	1	0	0	0	0	0	1
12ヶ月・36ヶ月	0	3	0	0	0	0	0	3
12ヶ月・無回答	0	0	1	0	0	0	0	1
12ヶ月・未定	0	0	0	1	0	0	0	1
無回答	0	0	0	0	0	1	0	1

○ 契約更新制限のない職員は、すべての図書館で1人もいなかった

【地方公務員法第3条第3項第3号の規定に基づく非常勤（嘱託）職員】

○ 職員の人数

	秋田		千葉		石川		兵庫		広島		宮崎		沖縄		合計	
	司書	嘱託	司書	嘱託												
0人	7	1	48	3	6	5	21	3	2	8	5	1	6	0	95	21
1～5人	4	3	35	19	11	9	15	12	23	14	2	1	11	12	101	70
6～10人	1	1	5	2	2	0	4	4	1	1	1	1	3	2	17	11
11～15人	0	0	3	1	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0	6	3
16～20人	0	0	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3	2
21～25人	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
26～30人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31～35人	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
36～40人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
41～45人	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
46～50人	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
無回答	16	0	7	24	8	0	35	0	8	1	7	0	4	0	85	25

○ 司書等有資格者の割合

	秋田	千葉	石川	兵庫	広島	宮崎	沖縄	合計
0%	1	3	5	3	8	1	0	21
1～25%	0	8	3	0	0	0	0	11
26～50%	1	4	2	1	1	0	1	10
51～75%	0	2	0	2	3	0	3	10
76～100%	3	10	4	16	11	2	10	56
無回答	0	24	0	0	1	0	0	25

○ 一人・週当たり平均勤務時間

	秋田	千葉	石川	兵庫	広島	宮崎	沖縄	合計
16時間以下	0	5	5	4	3	2	1	20
17～24時間	0	37	1	0	1	0	0	39
25～32時間	2	5	2	14	18	1	9	51
33～40時間	1	1	5	3	2	0	3	15
40時間超	0	3	0	0	0	0	0	3
無回答	2	0	1	1	0	0	1	5

○ 職員の雇用契約期間と最長雇用期間（市町村毎の集計）

契約・契約更新等による 期間・実質的雇用最長期間	秋田	千葉	石川	兵庫	広島	宮崎	沖縄	合計
1ヶ月・5ヶ月	0	0	1	0	0	0	0	1
1ヶ月・24ヶ月	0	0	0	1	0	0	0	1
1ヶ月・無回答	0	0	0	0	1	0	0	1
6ヶ月・12ヶ月	0	2	0	0	0	1	0	3
6ヶ月・24ヶ月	0	0	1	0	0	1	0	2
6ヶ月・60ヶ月	0	0	1	0	0	0	0	1
6ヶ月・105ヶ月	0	0	1	0	0	0	0	1
11ヶ月・55ヶ月	0	0	0	0	0	1	0	1
12ヶ月・12ヶ月	0	4	1	3	1	0	0	9
12ヶ月・17ヶ月	0	0	0	1	0	0	0	1
12ヶ月・24ヶ月	0	0	0	1	0	0	0	1
12ヶ月・36ヶ月	0	2	0	3	1	0	4	10
12ヶ月・39ヶ月	0	0	1	0	0	0	0	1
12ヶ月・48ヶ月	0	0	0	0	0	0	1	1
12ヶ月・60ヶ月	0	1	1	0	1	1	2	6
12ヶ月・63ヶ月	0	0	1	0	0	0	0	1
12ヶ月・120ヶ月	0	0	0	0	1	0	0	1
12ヶ月・168ヶ月	0	0	0	1	0	0	0	1
12ヶ月・180ヶ月	0	0	0	1	0	0	0	1
12ヶ月・183ヶ月	0	0	0	0	1	0	0	1
12ヶ月・228ヶ月	0	1	0	0	0	0	0	1
12ヶ月・期限なし	0	1	0	0	0	0	0	1
12ヶ月・無回答	3	2	1	2	0	0	0	8
24ヶ月・無回答	0	0	0	0	2	0	0	2
36ヶ月・無回答	0	0	0	0	0	1	0	1
48ヶ月・48ヶ月	0	0	0	0	1	0	0	1
無回答・該当なし	0	2	0	1	3	0	0	6

○ 契約更新制限のない職員の有無

	秋田		千葉		石川		兵庫		広島		宮崎		沖縄		合計	
	可	不可														
0人	0	0	35	35	8	10	5	7	10	15	1	1	10	10	69	78
1～5人	2	2	1	1	3	1	2	2	5	1	0	0	0	0	13	7
6～10人	1	1	0	1	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	4	5
11人～	0	0	1	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	3	2
無回答	2	2	14	14	3	3	11	9	9	8	2	2	4	4	45	42

【地方公務員法第22条第2項又は第5項の規定に基づく臨時職員】

○ 職員の人数

	秋田		千葉		石川		兵庫		広島		宮崎		沖縄		合計	
	司書	司書														
0人	2	4	45	28	10	7	4	8	3	8	1	5	1	3	66	63
1～5人	15	12	36	17	15	4	32	16	18	11	8	3	7	7	131	70
6～10人	6	0	11	2	0	0	9	6	2	2	0	0	4	2	32	12
11～15人	1	0	2	0	0	0	3	1	1	0	0	0	2	1	9	2
16～20人	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0
21～25人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26～30人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31～35人	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
無回答	4	6	11	3	3	4	29	14	9	1	6	0	10	0	72	28

○ 司書等有資格者の割合

	秋田	千葉	石川	兵庫	広島	宮崎	沖縄	合計
0%	10	28	7	8	8	5	3	69
1～25%	4	4	0	1	1	0	1	11
26～50%	5	7	2	2	7	1	1	25
51～75%	0	2	1	5	2	0	2	12
76～100%	3	6	1	15	3	2	6	36
無回答	0	3	4	14	1	0	0	28

○ 一人・週当たり平均勤務時間

	秋田	千葉	石川	兵庫	広島	宮崎	沖縄	合計
16時間以下	3	25	8	17	0	4	3	60
17～24時間	3	3	2	2	2	0	1	13
25～32時間	4	4	1	8	1	2	1	21
33～40時間	11	11	4	7	18	2	5	58
40時間超	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	1	7	0	11	1	0	3	29

○ 職員の雇用契約期間と最長雇用期間（市町村毎の集計）

契約期間・契約更新等による 実質的雇用最長期間	秋田	千葉	石川	兵庫	広島	宮崎	沖縄	合計
1ヶ月・2ヶ月	0	0	0	1	0	0	0	1
2ヶ月・6ヶ月	0	0	0	0	2	0	0	2
2ヶ月・12ヶ月	0	0	0	1	1	0	0	2
2ヶ月・無回答	0	1	0	0	0	0	0	1
3ヶ月・3ヶ月	0	2	0	0	0	0	0	2
3ヶ月・6ヶ月	0	0	0	0	0	1	0	1
3ヶ月・定めなし	0	0	0	0	0	0	1	1
4ヶ月・無回答	0	0	0	0	0	1	0	1
6ヶ月・6ヶ月	0	2	2	3	1	0	2	10
6ヶ月・12ヶ月	2	6	2	11	6	2	5	34
6ヶ月・17ヶ月	0	0	0	1	0	0	0	1
6ヶ月・22ヶ月	1	0	0	0	0	0	0	1
6ヶ月・24ヶ月	2	0	1	0	0	0	2	5
6ヶ月・30ヶ月	0	0	0	0	0	0	1	1
6ヶ月・36ヶ月	0	3	1	1	0	0	0	5
6ヶ月・48ヶ月	0	0	1	0	0	0	0	1
6ヶ月・60ヶ月	0	1	0	1	0	0	0	2
6ヶ月・135ヶ月	0	0	1	0	0	0	0	1
6ヶ月・180ヶ月	0	1	0	0	0	0	0	1
6ヶ月・228ヶ月	0	0	0	1	0	0	0	1
6ヶ月・無回答	3	2	0	2	1	0	0	8
11ヶ月・11ヶ月	0	0	0	0	0	1	0	1
12ヶ月・12ヶ月	0	0	1	0	0	0	0	1
12ヶ月・36ヶ月	0	0	0	0	0	1	0	1
12ヶ月・60ヶ月	0	1	0	0	0	0	0	1
12ヶ月・無回答	2	2	0	0	0	2	0	6
15ヶ月・15ヶ月	0	0	0	1	0	0	0	1
無回答	0	2	1	1	1	0	0	5

○ 契約更新制限のない職員の有無

	秋田		千葉		石川		兵庫		広島		宮崎		沖縄		合計	
	人	職	人	職	人	職	人	職	人	職	人	職	人	職	人	職
いない	7	8	39	40	9	10	18	19	10	14	5	7	7	9	95	107
1～5人	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	2	1	4	2
6～10人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	15	14	11	10	6	5	26	25	11	7	3	1	4	3	76	65

問2-2 図書館で働く外部事業者の社員（職員）について記入してください。

- ⑥ 当該事業者の終身雇用の正社員
- ⑦ 当該事業者の正社員で雇用期間の定めのある人
- ⑧ 当該事業者にアルバイト・パート等で雇用されている人

【終身雇用の正社員】

○ 社員・職員の人数

	秋田		千葉		石川		兵庫		広島		宮崎		沖縄		合計	
	可	書	可	書	可	書	可	書	可	書	可	書	可	書	可	書
いない	6	0	58	0	17	0	30	0	15	0	8	0	13	0	147	0
いる	1~5人	0	0	1	1	0	0	13	4	0	0	0	0	0	14	5
	6~10人	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	11~15人	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
無回答	22	0	47	0	11	0	34	9	19	0	7	0	11	0	151	9

○ 司書等有資格者の割合

	秋田	千葉	石川	兵庫	広島	宮崎	沖縄	合計
0%	0	0	0	0	0	0	0	0
1~25%	0	0	0	1	0	0	0	1
26~50%	0	0	0	0	0	0	0	0
51~75%	0	0	0	0	0	0	0	0
76~100%	0	1	0	4	0	0	0	5
無回答・該当者なし	0	0	0	9	0	0	0	9

【正社員で雇用期間の定めのある人】

○ 社員・職員の人数

	秋田		千葉		石川		兵庫		広島		宮崎		沖縄		合計	
	司書	その他	司書	その他	司書	その他	司書	その他	司書	その他	司書	その他	司書	その他	司書	その他
いない	6	0	55	1	16	1	30	0	8	0	8	0	13	0	136	2
いる	1~5人	0	0	1	1	1	0	5	5	0	0	0	0	0	7	6
	6~10人	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	2	2
	11~15人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16~20人	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
無回答	22	0	49	0	11	0	42	0	25	0	7	0	11	0	167	0

○ 司書等有資格者の割合

	秋田	千葉	石川	兵庫	広島	宮崎	沖縄	合計
0%	0	1	1	0	0	0	0	2
1~25%	0	1	0	0	0	0	0	1
26~50%	0	0	0	0	0	0	0	0
51~75%	0	0	0	0	0	0	0	0
76~100%	0	0	0	6	1	0	0	7
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0

○ 一人・週当たり平均勤務時間

	秋田	千葉	石川	兵庫	広島	宮崎	沖縄	合計
16時間以下	0	0	0	0	0	0	0	0
17~24時間	0	1	0	1	0	0	0	2
25~32時間	0	1	0	0	0	0	0	1
33~40時間	0	0	1	0	1	0	0	2
40時間超	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	5	0	0	0	5

【アルバイト・パート等】

○ 社員・職員の人数

	秋田		千葉		石川		兵庫		広島		宮崎		沖縄		合計		
	司書	その他	司書	その他	司書	その他	司書	その他	司書	その他	司書	その他	司書	その他	司書	その他	
いない	6	1	53	4	14	3	24	3	8	3	5	1	13	0	123	15	
いる	1～5人	1	1	2	0	2	0	13	7	4	2	2	2	0	0	24	12
	6～10人	1	0	2	1	1	0	4	3	1	0	1	0	0	0	10	4
	11～15人	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	16～20人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	21～30人	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
無回答	20	0	47	0	11	0	36	5	21	0	7	0	11	0	153	5	

○ 司書等有資格者の割合

	秋田	千葉	石川	兵庫	広島	宮崎	沖縄	合計
0%	1	4	3	3	3	1	0	15
1～25%	0	0	0	1	2	0	0	3
26～50%	1	2	0	0	0	1	0	4
51～75%	0	0	0	6	0	0	0	6
76～100%	0	0	0	3	0	1	0	4
無回答	0	0	0	5	0	0	0	5

○ 一人・週当たり平均勤務時間

	秋田	千葉	石川	兵庫	広島	宮崎	沖縄	合計
16時間以下	2	3	3	0	1	1	0	10
17～24時間	0	1	0	3	3	0	0	7
25～32時間	0	1	0	1	0	0	0	2
33～40時間	0	0	0	6	1	1	0	8
40時間超	0	1	0	0	0	0	0	1
無回答	0	0	0	8	0	1	0	9

問2-3 図書館に労働者派遣法に基づく派遣労働者はいますか。

問2-4 図書館ボランティアはいますか。

問2-5 上記以外に図書館で働いてる人はいますか

【派遣労働者】

○ 社員・職員の人数

	秋田		千葉		石川		兵庫		広島		宮崎		沖縄		合計	
	司書	司書	司書	司書	司書	司書	司書	司書	司書	司書	司書	司書	司書	司書	司書	司書
いない	25	0	79	0	22	0	65	0	26	0	11	0	21	0	249	0
いる	1~5人	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	6~10人	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	11~15人	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	16~20人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	21~30人	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
無回答	3	0	27	0	3	0	13	0	8	0	4	0	3	0	61	0

○ 司書等有資格者の割合

	秋田	千葉	石川	兵庫	広島	宮崎	沖縄	合計
0%	0	0	0	0	0	0	0	0
1~25%	0	0	0	0	0	0	0	0
26~50%	0	0	0	0	0	0	0	0
51~75%	0	0	1	0	0	0	0	1
76~100%	0	0	2	0	0	0	0	2
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0

○ 一人・週あたり平均勤務時間

	秋田	千葉	石川	兵庫	広島	宮崎	沖縄	合計
16時間以下	0	0	0	0	0	0	0	0
17~24時間	0	0	0	0	0	0	0	0
25~32時間	0	0	1	0	0	0	0	1
33~40時間	0	0	1	0	0	0	0	1
40時間超	0	0	1	0	0	0	0	1
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0

【図書館ボランティア】

○ ボランティアの人数

	秋田		千葉		石川		兵庫		広島		宮崎		沖縄		合計		
	司書	司書	司書	司書	司書	司書	司書	司書	司書	司書	司書	司書	司書	司書	司書	司書	
いない	17	2	68	5	19	3	49	3	25	1	7	2	12	6	197	22	
いる	1～5人	2	0	1	1	2	0	3	2	0	0	1	0	4	1	13	4
	6～10人	1	0	1	0	1	0	3	0	0	0	0	0	1	0	7	0
	11～15人	2	0	3	0	0	0	3	1	1	0	1	0	2	0	12	1
	16～20人	1	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0	6	0
	21～30人	0	0	2	0	1	0	2	0	0	0	0	0	1	0	6	0
	31～40人	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	3	0
	41～50人	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	50人以上	1	0	3	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	8	0
無回答	3	6	27	5	2	4	12	11	8	0	5	1	3	2	60	29	

○ 司書等有資格者の割合

	秋田	千葉	石川	兵庫	広島	宮崎	沖縄	合計
0%	2	5	3	3	1	2	6	22
1～25%	0	1	0	1	0	0	1	3
26～50%	0	0	0	2	0	0	0	2
51～75%	0	0	0	0	0	0	0	0
76～100%	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	6	5	4	11	0	1	2	29

○ 一人・週あたり平均勤務時間

	秋田	千葉	石川	兵庫	広島	宮崎	沖縄	合計
16時間以下	2	3	2	12	0	1	8	28
17～24時間	0	0	0	0	0	0	0	0
25～32時間	0	0	0	0	0	0	0	0
33～40時間	0	0	0	0	0	0	0	0
40時間超	0	1	0	0	0	0	0	1
無回答	6	7	5	5	1	2	1	27

【その他の人】

○ その他の人の人数

	秋田		千葉		石川		兵庫		広島		宮崎		沖縄		合計		
	司書	その他	司書	その他	司書	その他	司書	その他	司書	その他	司書	その他	司書	その他	司書	その他	
いない	21	3	57	7	24	2	61	4	24	1	8	1	18	0	213	18	
いる	1～5人	3	0	6	3	1	0	5	0	2	0	2	0	2	2	21	5
	6～10人	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2
	11～15人	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	16～20人	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
	21～30人	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0
	31～40人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	41～50人	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	51人以上	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
無回答	4	0	32	5	2	0	12	1	8	1	5	1	3	0	66	8	

○ 司書等有資格者の割合

	秋田	千葉	石川	兵庫	広島	宮崎	沖縄	合計
0%	0	7	2	4	1	1	0	15
1～25%	0	1	0	0	0	0	0	1
26～50%	0	2	0	0	0	0	1	3
51～75%	0	1	0	0	0	0	0	1
76～100%	0	1	0	0	0	0	2	3
無回答	3	5	0	1	1	1	0	11

○ 一人・週当たり平均勤務時間

	秋田	千葉	石川	兵庫	広島	宮崎	沖縄	合計
16時間以下	0	0	0	0	0	0	0	0
17～24時間	0	0	0	0	0	0	0	0
25～32時間	0	0	0	0	0	0	0	0
33～40時間	0	0	0	0	0	0	0	0
40時間超	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	3	17	2	5	2	2	3	34

〔3〕 図書館に勤務する常勤職員の採用及び任命について

問3-1 司書等について、専門職としての任命がありますか。

	秋田	千葉	石川	兵庫	広島	宮崎	沖縄	合計
ア ある	2	18	7	12	2	1	7	49
イ 制度はあるが、現在、任命されている職員はいない	1	2	1	0	0	0	1	5
ウ ない（過去にもなかった、確認できる限り過去にもなかった）	9	13	7	16	9	9	5	68
エ 過去にあったが、現在は廃止された	2	3	1	3	1	1	1	12
オ その他	0	0	0	0	1	0	1	2
無回答	2	0	1	4	4	4	1	16

○ 「その他」の具体的な回答

- ・ 事務職員が司書兼務の辞令を受けている
- ・ 司書有資格が採用要件であるが、職名は一般行政職である

問3-2 問3-1で「ア」と回答した図書館にお聞きします。過去の採用等の実績を記入してください。

○ 過去10年間における司書等の専門職としての採用者数（事務職からの異動を含む）

	秋田	千葉	石川	兵庫	広島	宮崎	沖縄	合計
1人	0	4	0	3	0	0	1	8
2人	0	3	1	2	2	0	0	8
3人	1	4	0	1	0	0	1	7

	秋田	千葉	石川	兵庫	広島	宮崎	沖縄	合計
4人	1	0	0	1	0	0	1	3
5人	0	0	1	0	0	0	0	1
6人	0	0	0	1	0	0	0	1
無回答	0	7	5	4	0	1	4	21

○ 司書等の専門職としての採用があった最終年（事務職からの異動を含む）

	秋田	千葉	石川	兵庫	広島	宮崎	沖縄	合計
平成20年	0	1	0	0	0	0	0	1
19年	0	1	0	1	2	0	2	6
18年	0	2	2	0	0	0	0	4
17年	0	1	0	0	0	0	1	2
16年	0	1	1	1	0	0	0	3
15年	1	1	0	0	0	0	0	2
14年	0	1	0	0	0	0	0	1
13年	0	0	0	1	0	0	0	1
10年	0	2	0	2	0	0	0	4

	秋田	千葉	石川	兵庫	広島	宮崎	沖縄	合計
平成9年	0	1	1	1	0	0	0	3
8年	0	0	0	1	0	0	0	1
7年	0	1	1	0	0	0	0	2
6年	0	2	0	1	0	0	0	3
3年	0	0	0	1	0	0	1	2
2年	0	1	0	0	0	0	0	1
昭和58年	0	0	0	1	0	0	0	1
57年	0	1	0	0	0	0	0	1
51年	0	0	0	0	0	1	0	1
無回答	1	2	2	2	0	0	3	10

問3-3 問3-1で「ア」と回答した図書館にお聞きします。公立図書館以外で、司書等の専門職が配置されている勤務先はありますか。

	秋田	千葉	石川	兵庫	広島	宮崎	沖縄	合計
ア 公立学校	1	1	3	1	0	1	8	15
イ 公民館	0	1	0	0	0	0	1	2
ウ 博物館	0	2	0	0	0	0	0	2
エ 試験研究機関	0	0	0	0	1	0	0	1
オ その他	0	0	2	1	1	0	0	5
無回答（「なし」を含む）	1	14	3	10	0	0	0	28

(注) 問3-1で「オ」と回答した図書館からも回答があった（沖縄県1館）

(注)「ア」には公立大学（3市）の回答を含む。

○「その他」の具体的な回答

- ・教育委員会3名（生涯学習課、学校指導課、国際文化課）

○複数回答（集計上は両方に計上している）

- ・「イ」「ウ」（千葉県）
- ・「ア」「オ」（石川県）
- ・「ア」「イ」（沖縄県）

○配置されている施設数と職員数

- ・公民館に社会教育主事として、博物館に学芸員として（人数は不明）
- ・高校1校1名、小中学校29校29名（嘱託）、空と子ども絵本館1名（臨時）
- ・公立小学校10名、中学校1名
- ・27施設（公立学校）に合計で12名
- ・1名が町内3小学校を時間帯を分けて勤務している
- ・公立学校2施設に10名と公立大学（人数は不明）
- ・小学校（正職員4名、臨時職員4名）、中学校（正規職員2名、臨時職員2名）
- ・小学校3校と中学校1校（2名は正職員、2名は嘱託職員）
- ・小学校4名、中学校2名（嘱託職員）
- ・小学校2校に1名
- ・23校に19名
- ・13校に9名
- ・町内小中学校に司書の配置されている学校はあるが、図書館からの出向ではない

問3-4 図書館の専門的業務を行う職員の採用はどのようになっていますか。地方公共団体または図書館としての方針を、具体的な方針等がない場合は過去5年間程度の実績等を踏まえ回答してください。

	秋田	千葉	石川	兵庫	広島	宮崎	沖縄	合計
図書館職員としての募集・採用試験がある	0	5	1	6	1	2	2	17
図書館職員としての募集がある。一般行政職と同じ一次試験（筆記試験等）を行い、二次試験（面接や専門分野の筆記試験等）で図書館学に関する出題がある	1	2	2	6	0	0	1	12
一般行政職としての採用者の中から、本人の希望を確認しつつ、司書有資格者を優先的に図書館に配置する	2	8	9	5	1	3	6	34
一般行政職の採用者の中から図書館に配置されるが、司書資格の有無、本人の希望等は考慮されない	9	17	3	9	10	5	4	57
その他	1	3	1	3	0	1	1	10
無回答	3	1	1	6	5	4	2	22

○「その他」の具体的な回答

- ・過去5年間に図書館職員の新規募集がなく、一般行政職採用者から図書館への配属もなかった
- ・図書館職員としての募集があるが、一般行政職と同じ試験を行う

問3-5 図書館の専門的業務を行う職員を新規に採用する場合、採用までの時点で図書館は選考に加わりませんか。

	秋田	千葉	石川	兵庫	広島	宮崎	沖縄	合計
募集、試験問題作成、面接、選考等に図書館が関与する	0	0	0	3	0	1	0	4
図書館長や図書館職員が選考委員等の一員となって採用手続に参画する	0	0	1	4	0	1	0	6
あらかじめ図書館の希望を採用担当部局に提示しておき、その方針に基づき採用担当部局が実施する	1	4	3	3	0	0	1	12
図書館は採用担当部局に採用したい人材の能力等を提示する機会があるが、図書館の意向がどの程度反映されるかは不明（又は、図書館の意向はあまり反映されない）	0	5	3	3	0	0	0	11
通常の定員要求等の手順があるのみで、採用者や異動による補充となるかなどは、異動時期の直前まで不明である	10	22	6	13	12	7	9	79
その他	1	3	2	3	0	2	4	15
無回答	4	2	2	6	5	4	2	25

○「その他」の具体的な回答

- ・ 人事や選考に関して図書館は一切関われない 4
- ・ 面接でのみ関与する

○ 複数回答（集計上は両方に計上している）

- ・ 「工」「才」（兵庫県）

〔4〕常勤職員の図書館と外部機関との間の異動について

問4-1 図書館の専門的業務に従事している職員の異動はどのようになっていますか。過去10年程度の実績の説明としてもっともあてはまるものを選択してください。①専門職として任命された職員、②司書資格を有しているが専門職としては任命されていない職員、について回答してください。（専門職としての任命のない図書館については、②のみ回答してください。）

	秋田	千葉	石川	兵庫	広島	宮崎	沖縄	合計
ア 本人の希望がない限り、退職までの間、原則として図書館（問3-3の各施設や人事交流等による隣接自治体の図書館等を含む）に勤務する	0 1	8 1	1 0	7 2	2 0	0 0	4 1	22 5
イ 管理職登用などの節目に図書館外に異動する場合がある（一定の職務経験後に図書館の管理職となる）	0 0	0 0	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0	1 0
ウ 管理職登用などの節目に図書館外に異動する場合がある（管理職となった後は一般行政職と同じ扱いとなり、図書館に復帰する保証はなくなる）	0 0	4 1	2 1	0 0	0 0	0 1	0 1	6 4
エ 一定の勤務期間を経過したら図書館外に異動することが通例である（一定の職務経験後は図書館に復帰する）	0 0	0 3	1 0	0 1	0 0	0 1	0 0	1 5
オ 一定の勤務期間を経過したら図書館外に異動することが通例である（一般行政職と同じ扱いとなり、図書館に復帰する保証はなくなる）	1 0	0 6	1 2	0 2	0 0	0 1	1 2	3 13
カ 図書館外への異動も普通にある（一般行政職と同じ扱いである）	1 13	4 16	1 8	2 12	0 10	1 6	1 4	10 69
キ その他	0 0	2 2	1 0	2 3	0 0	0 1	1 0	6 6
無回答	0 2	0 7	0 6	0 15	0 7	0 5	0 8	0 50

（注）上段は、「① 専門職として任命された職員」、下段は、「② 司書資格を有しているが専門職としては任命されていない職員」の数値である。

（注）①は問3-1で「ア」と回答した図書館、②は調査対象の全図書館を集計対象とした。

○「その他」の具体的な回答

- ・少数であるが、一般行政職業務への異動がある
- ・通常の異動により配属されるが、有資格者であり面接試験を実施する

問４－２ 常勤地方公共団体職員の、図書館外から図書館への異動はどのようになって
いますか。過去５年間程度の実績の説明としてもっともあてはまるものを選択
してください。

	秋田	千葉	石川	兵庫	広島	宮崎	沖縄	合計
司書資格を有する人で図書館勤務を希望する人が異動する	0	0	3	1	0	0	0	4
司書資格を有する人が異動するが、本人の希望は、あまり考慮されない	0	1	3	2	0	1	3	10
司書資格の有無に関係なく異動があるが、司書資格取得の機会が与えられる（講習への派遣や通信教育受講費の補助制度等がある）	3	3	1	2	0	0	0	9
司書資格の有無に関係なく異動があるが、司書資格取得の機会はない	11	27	8	17	12	9	9	93
その他	1	4	1	6	1	1	2	16
無回答	1	1	1	7	4	4	2	20

○「その他」の具体的な回答

- ・ 図書館開館から間もないため図書館外への異動実績はない

〔5〕非常勤（嘱託）職員や臨時職員の採用について

問5-1 非常勤（嘱託）職員や臨時職員の採用はどのようになっていますか。

	秋田	千葉	石川	兵庫	広島	宮崎	沖縄	合計
ア 募集や選考を図書館が行う	2	21	2	8	7	3	3	46
イ 募集や選考を教育委員会が行う	1	2	4	5	2	2	2	18
ウ 募集や選考を教育委員会が行うが、図書館の希望は一定程度、反映される	3	2	3	4	1	1	7	21
エ 募集や選考を首長部局が行う	3	2	2	6	1	1	0	15
オ 募集や選考を首長部局が行うが、図書館の希望は一定程度、反映される	4	3	4	8	3	4	1	27
カ その他	2	3	1	0	1	1	1	9
無回答	1	3	1	4	3	4	2	18

○「その他」の具体的な回答

- ・ 首長部局に登録されている人の中から教育委員会が選考を行う
- ・ 募集は首長部局が行うが、選考は図書館が実施（司書等有資格者で必要に応じ面接及び書類選考）
- ・ 臨時職員は教育委員会が募集し図書館が選考するが、嘱託職員は募集も選考も図書館が実施する
- ・ 嘱託職員の採用はない
- ・ カウンター業務の民間委託を行っており、臨時職員等の採用はない

○ 複数回答（集計上は両方に計上している）

- ・ 嘱託職員は「ア」、臨時職員は「カ」で、市役所に登録している人の中で司書資格のある人を対象に履歴書を提出してもらい選考する（広島県）
- ・ 嘱託職員は「イ」、臨時職員は「オ」（宮崎県）

問5-2 採用の際に試験等は実施しますか。

	秋田	千葉	石川	兵庫	広島	宮崎	沖縄	合計
ア 図書館学に関する筆記試験を行う（筆記及び面接の両方を行う場合を含む）	0	0	0	7	0	0	0	7
イ 図書館学に関する口答試験、面接等を行う	3	2	3	6	3	1	0	18
ウ 履歴書等で図書館学に関する知識の有無を判断する	3	4	3	5	4	1	9	29
エ 図書館学に関する知識は問わない	5	19	7	9	6	6	1	53
オ その他	3	7	2	3	1	3	4	23
無回答	2	4	2	5	3	4	2	22

○「その他」の具体的な回答

- ・市が実施する採用試験によっている
- ・市の規定による願書のほか、一次審査で小論文等を行い、二次審査で面接と実技（書庫出納）を行う
- ・採用は司書有資格が要件であるが、図書館学に関する問は出題していない（書類選考及び面接を行っている）
- ・司書有資格が要件で面接のみ実施
- ・面接のみ実施する
- ・採用時の館長及び面接担当者の判断によっている
- ・委託職員については図書館学の知識を評価するが、臨時職員については有資格者を採用しているが人柄中心（いずれも面接のみ実施）

問5-3 選考にあたっての図書館学に関する知識とそれ以外の条件（面接での態度や図書館以外での職歴、人柄など）との評価割合はどうなっていますか。

	秋田	千葉	石川	兵庫	広島	宮崎	沖縄	合計
ア 図書館学に関する一定の知識を持っていることが採用の必要要件	0	2	0	3	1	1	3	10
イ 図書館学に関する知識を持っていることは採用できわめて重要な評価点	2	0	1	3	2	0	4	12
ウ 図書館学に関する知識も評価するが、人柄などの方が重要な評価点	2	6	5	8	6	2	4	33
エ 人柄などの評価が中心であり、図書館学に関する知識については、あれば望ましい、という程度	5	20	6	10	4	7	1	53
オ 採用する時によって異なる（採用する職員ごとに具体的な担当業務が決まっており、その業務に応じて評価することになっている）	2	1	3	3	0	1	1	11
カ その他	3	3	1	1	0	0	1	9
無回答	2	5	1	7	4	4	2	25

○「その他」の具体的な回答

- ・選考は首長部局が実施するため詳細は不明

○複数回答（集計上は両方に計上している）

- ・有資格者は「ウ」であり、資格のない者は「エ」である（千葉県）

○ その他、職員の採用や任命に関して課題となっていることがありましたら、自由記入欄に記入してください。

- ・夜間、土曜日、休日等の勤務があることが採用を困難にしている
- ・館長が兼務であったり、司書資格のない一般職員が配置されるなど図書館現場の理解が進んでいない
- ・専門職として認められていないので、嘱託職員の出入りが多い

〔6〕 図書館業務の実施状況について

問6-1 A～Nの業務（次ページ参照）は、(1)～(5)のどの人が担当していますか。
業務の分担として、もっとも当てはまる状況を、ア～オからそれぞれ選択して回答してください。

【図書館勤務者の分類】

- (1) 常勤職員
- (2) 再雇用職員、非常勤（嘱託）職員、臨時職員
- (3) 業務委託先の職員（社員）、派遣社員等
- (4) 図書館ボランティア
- (5) その他

【業務分担の分類】

- ア 当該業務の全体を実施する。（下記の「イ」及び「ウ」の業務の両方を行う。）
- イ 当該業務の責任者・調整役等の立場で、方針策定・基本的ルール決定・企画立案・例外事象に対する判断等を実施を行う。（現場での実務は行わない。）
- ウ （「イ」の人の指示により）当該業務の現場での実務・サービスの実施・個別の書類や資料の作成等を中心となって行う
- エ 「ウ」の人を支援する立場で現場での作業等の補助的な業務（講習会の会場整理を含む）を行う
- オ 当該業務は担当していない

問6-2 問6-1各業務について、業務の実施状況はどうか。

- ア 業務は適切に運営されている
- イ 担当する職員の状況に比べて業務量が多く、業務が滞る場合がある
- ウ 業務内容に専門的な知識が必要な場合があり、担当職員の専門性の不足を感じる場合がある
- エ 業務分担が不明確・不適切などで、業務が適切に実施されない場合がある
- オ 業務の内容や結果について評価や分析は行っていない
- カ その他

○「その他」の具体的な回答及び自由記入

- ・ 情報検索講習会等（業務のN）は、現在のところ実施していない 10
- ・ 講座や講習会は、職員不足と予算計上の難しさから実施が困難
- ・ 少人数のため、特に分担を定めず、すべての業務をすべての職員が実施している
- ・ 嘱託職員は正規職員とまったく同じ仕事をしている

【合計】

	(1) 常勤職員					(2) 再雇用職員等					(3) 委託先の職員					(4) ボランティア					(5) その他					問6-2					
	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
A 図書館規則の制定、改正等	105 22	16 5	0	0	1 1	3 1	0	1	0	50 1	1	0	0	0	17	0	0	0	0	22	2	0	0	1	10	88	7	7	0	7	2
B 図書館の基本計画、サービス計画の策定等	105 28	15 3	1	0	1 1	3 1	2 2	4 2	2	48 1	0	0	0	0	17	0	0	0	0	23	2	0	0	1	10	71	13	9	2	10	2
C 図書館広報の実施 <small>(自治体広報への原稿掲載や視察対応等も含む)</small>	94 29	13 1	11 7	0	0	5 2	4 3	23 6	13 4	30 1	0	0	3	0	15	0	0	2	1	21	2	0	1	1	9	87	9	1	2	10	0
D 図書館資料の選定、購入	97 51	9 2	12 10	0	0	9 4	6 4	26 11	9 3	29	0	0	4 1	1 1	15	0	0	0	0	23	2	1	0	1	9	73	15	17	1	4	0
E 納入された資料の確認、 装備や目録の作成・登録	77 32	22 8	11 10	1	1	13 7	3 1	51 21	21 5	9	1	0	9 1	2 1	11	0	0	0	3	20	1	1	3	1	7	82	21	1	2	3	0
F 新着本、返却本などの日 常的な排架や書架整理	75 24	19 10	12 6	1	1	18 8	4 1	57 19	21 4	3	2	1	8 2	3	8	1	0	3	14	11	3	0	2	1	6	83	22	0	1	3	0
G カウンターでの貸出 手続き	81 28	15 6	13 6	1	1	23 7	5 2	53 15	21 8	3	3 1	1	8 1	2	10	0	0	3	1	21	3	0	2	2	6	93	8	5	1	3	0
H 読書相談・読書案内・館 内案内	93 38	12 3	10 7	1	0	14 7	2 1	45 11	21 5	9	1	0	6 1	3 1	10	0	0	1	1	21	2	0	1	3	7	67	14	17	3	9	0
I レファレンスサービス	97 47	10 4	11 8	0	0	17 11	4 3	38 16	18 5	12	0	0	5 1	2 1	13	0	0	1	0	22	1	1	1	3	8	57	11	34	2	6	0
J 相互貸借の受付、他図書 館への依頼	86 39	12 4	12 7	1	1	13 8	4 3	39 15	11 4	18	0	0	4	0	15	0	0	0	0	23	3	0	0	2	9	86	15	3	2	3	0
K 学校、児童館等と連携して 行う図書館サービスの実施	89 35	14 9	7 5	0	3 1	7 3	2 2	32 11	15 5	19	0	0	3	1 1	16	1	0	2	3	18	2	1	0	1	9	61	19	4	8	9	4
L 図書館が主催する講座、 研修会、展示会等の実施	100 35	9 3	6 4	0	2 1	9 5	3 3	25 8	24 6	13	0	0	3	0	16	1	0	1	6	16	3	0	0	2	8	73	14	4	4	9	1
M 図書館が主催するお話し 会等の子ども向け行事の実施	85 36	14 6	9 4	0	4 1	11 6	3 3	35 14	20 4	13	1	0	3	0	16	3	1	16	14 2	9	3	0	0	2	8	86	10	5	3	4	0
N 図書館が主催する情報検索講習会、インターネット 利用講習会など、情報関連の行事の実施	50 11	5	4 3	0	20	3 1	0	8 2	9 1	25	0	0	0	0	11	0	0	1	1	12	3	0	0	1	9	34	6	6	5	9	11

(注) 各欄の下段の斜字体の数字は、司書等の資格を有する人が中心となって当該業務を行っているとは回答した図書館数である。

【秋田県】

	(1) 常勤職員					(2) 再雇用職員等					(3) 委託先の職員					(4) ボランティア					(5) その他					問6-2					
	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
A 図書館規則の制定、改正等	8 1	3	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	12	0	0	0	1	0
B 図書館の基本計画、サービス計画の策定等	8 1	3	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	10	0	1	1	1	0
C 図書館広報の実施 <small>(自治体広報への原稿掲載や視察対応等も含む)</small>	7 2	2	1 1	0	0	2 2	0	1	1	4	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	11	0	0	1	1	0
D 図書館資料の選定、購入	8 5	2	1 1	0	0	1 1	0	2 1	2	4	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	10	2	0	0	1	0
E 納入された資料の確認、 装備や目録の作成・登録	5 3	4 1	1 1	0	0	1 1	0	3 1	2	3	0	0	1	0	2	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	10	2	0	0	1	0
F 新着本、返却本などの日常的な 排架や書架整理	6 2	1	2	0	0	2 2	1	3	2	0	1	0	0	1	1	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	12	0	0	0	1	0
G カウンターでの貸出手続き	6 3	1	2	0	0	2 2	1	3	2	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	3	1	0	0	1	0	10	2	0	0	1	0
H 読書相談・読書案内・館内案内	8 4	1	1 1	0	0	2 2	0	4	3	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3	1	0	0	1	0	7	3	1	0	2	0
I レファレンスサービス	8 4	0	2	0	0	2 2	1 1	3	3	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3	1	0	0	1	0	7	1	3	0	2	0
J 相互貸借の受付、他図書館への依頼	8 4	0	2 1	0	0	1 1	1	3 1	2	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3	1	0	0	1	0	12	0	0	0	1	0
K 学校、児童館等と連携して行う 図書館サービスの実施	7 2	2 1	0	0	1	1 1	0	3 1	2	3	0	0	0	0	2	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	8	0	0	2	2	0
L 図書館が主催する講座、 研修会、展示会等の実施	8 1	1	0	0	1	1 1	0	2 1	2	3	0	0	0	0	2	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	8	0	0	1	1	1
M 図書館が主催するお話し会 等の子ども向け行事の実施	5 2	2	3	0	1	1	0	3 2	1	3	0	0	0	0	2	0	1	0	1	2	1	0	0	0	0	11	0	0	1	1	0
N 図書館が主催する情報検索講習会、 インターネット利用講習会など、 情報関連の行事の実施	3 1	1	0	0	3	0	0	2 1	1	3	0	0	0	0	2	0	0	1	0	3	1	0	0	0	1	3	0	1	1	2	1

(注) 各欄の下段の斜字体の数字は、司書等の資格を有する人が中心となって当該業務を行っているとは回答した図書館数である。

【千葉県】

	(1) 常勤職員					(2) 再雇用職員等					(3) 委託先の職員					(4) ボランティア					(5) その他					問6-2					
	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
A 図書館規則の制定、改正等	30 3	3 2	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	3	0	0	0	0	7	0	0	0	0	4	25	4	1	0	2	0
B 図書館の基本計画、サービス計画の策定等	30 6	3 2	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	3	0	0	0	0	7	0	0	0	0	4	22	5	2	0	2	0
C 図書館広報の実施 <small>(自治体広報への原稿掲載や視察対応等も含む)</small>	29 5	0	4 2	0	0	0	0	2 1	0	12	0	0	1	0	2	0	0	1	0	7	0	0	1	0	3	25	3	0	0	3	0
D 図書館資料の選定、購入	29 14	0	4 3	0	0	0	0	4	0	11	0	0	1	0	2	0	0	0	0	7	1	0	0	0	3	17	10	4	0	0	0
E 納入された資料の確認、 装備や目録の作成・登録	23 7	5 2	3 3	1 1	0	1	0	12 4	8 2	5	0	0	2	0	2	0	0	0	2	5	0	0	2	0	2	19	11	1	0	0	0
F 新着本、返却本などの日常的な 並架や書架整理	20 2	8 4	3 2	0	0	1	0	15 3	10 1	2	0	0	2	0	1	0	0	2	2	4	1	0	2	0	1	22	9	0	0	0	0
G カウンターでの貸出手続き	23 3	5 2	4 2	0	0	2	1	15 2	8 3	2	0	0	3	0	1	0	0	2	1	6	1	0	2	0	1	27	2	2	0	0	0
H 読書相談・読書案内・館内案内	26 10	2	3 2	1 1	0	0	0	9	4	8	0	0	1	1	1	0	0	0	1	6	1	0	1	0	2	15	6	7	0	3	0
I レファレンスサービス	29 13	1	3 3	0	0	0	0	7 3	4 1	8	0	0	1	0	2	0	0	0	0	7	0	0	1	0	3	16	3	10	0	2	0
J 相互貸借の受付、他図書館への依頼	26 10	3 1	2 1	1 1	0	0	0	9 3	1	8	0	0	1	0	2	0	0	0	0	7	1	0	0	0	3	26	4	0	1	0	0
K 学校、児童館等と連携して行う 図書館サービスの実施	27 12	2 1	3 2	0	0	0	0	8 2	1	7	0	0	1	0	2	0	0	0	1	6	1	0	0	0	3	17	7	1	3	1	1
L 図書館が主催する講座、 研修会、展示会等の実施	28 9	1	3 2	0	0	0	0	6 1	3 1	7	0	0	1	0	2	0	0	0	2	5	1	0	0	1	2	18	8	1	1	2	0
M 図書館が主催するお話し会 等の子ども向け行事の実施	26 9	3 2	3 2	0	0	1	0	7 1	5 1	7	0	0	1	0	3	0	0	5	2	3	1	0	0	1	2	24	5	1	1	0	0
N 図書館が主催する情報検索講習会、 インターネット利用講習会など、 情報関連の行事の実施	12 1	0	2 2	0	4	0	0	0	1 1	8	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3	5	2	3	2	1	6

(注) 各欄の下段の斜字体の数字は、司書等の資格を有する人が中心となって当該業務を行っている」と回答した図書館数である。

【石川県】

	(1) 常勤職員					(2) 再雇用職員等					(3) 委託先の職員					(4) ボランティア					(5) その他					問6-2					
	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
A 図書館規則の制定、改正等	11 5	2 2	0	0	1 1	1 1	0	0	0	6	0	0	0	0	4	0	0	0	0	3	0	0	0	0	2	7	0	5	0	1	0
B 図書館の基本計画、サービス計画の策定等	11 6	1 1	0	0	1 1	1 1	0	0	1	5	0	0	0	0	4	0	0	0	0	3	0	0	0	0	2	6	2	2	0	2	0
C 図書館広報の実施 <small>(自治体広報への原稿掲載や視察対応等も含む)</small>	8 5	4 1	1 1	0	0	0	0	5 1	3 1	2	0	0	0	0	4	0	0	0	0	3	0	0	0	0	2	9	2	0	1	1	0
D 図書館資料の選定、購入	11 9	1	2 2	0	0	0	2 1	2 1	2	3	0	0	0	0	4	0	0	0	0	3	0	0	0	0	2	9	0	2	1	1	0
E 納入された資料の確認、 装備や目録の作成・登録	6 3	6 3	1 1	0	0	2 2	0	7 2	2	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	3	0	0	1	0	1	9	1	0	2	1	0
F 新着本、返却本などの日常的な 排架や書架整理	7 3	4 3	2 2	0	0	2 1	0	7 2	2	0	0	0	1	1	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0	2	8	3	0	1	1	0
G カウンターでの貸出手続き	8 4	3 2	2 2	0	0	3 1	0	6 2	3 1	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	2	10	1	0	1	1	0
H 読書相談・読書案内・館内案内	10 6	2 1	2 2	0	0	1 1	0	5 1	3	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	2	9	1	1	1	1	0
I レファレンスサービス	11 8	1 1	2 2	0	0	1 1	0	4 1	3	1	0	0	0	0	4	0	0	0	0	3	0	0	0	0	2	7	1	3	1	1	0
J 相互貸借の受付、他図書館への 依頼	9 7	2 1	2 2	0	0	0	0	5 1	2	3	0	0	0	0	4	0	0	0	0	3	0	0	0	0	2	8	1	2	1	1	0
K 学校、児童館等と連携して 行う図書館サービスの実施	8 5	3 2	1 1	0	1 1	1 1	0	6 1	2	2	0	0	0	0	4	0	0	0	0	3	0	0	0	0	2	6	3	1	1	1	0
L 図書館が主催する講座、 研修会、展示会等の実施	9 5	2 1	1 1	0	1 1	2 1	0	3 1	4	1	0	0	0	0	4	0	0	0	1	2	0	0	0	0	2	9	1	1	0	1	0
M 図書館が主催するお話し会 等の子ども向け行事の実施	9 5	2 1	1 1	0	1 1	1 1	0	4 1	3	1	0	0	0	0	4	0	0	1	3	0	0	0	0	0	2	9	1	1	0	1	0
N 図書館が主催する情報検索講習会、 インターネット利用講習会など、 情報関連の行事の実施	7 5	1	0	0	3 1	0	0	1	2	4	0	0	0	0	3	0	0	0	1	2	0	0	0	0	2	6	1	0	0	2	2

(注) 各欄の下段の斜字体の数字は、司書等の資格を有する人が中心となって当該業務を行っているとは回答した図書館数である。

【兵庫県】

	(1) 常勤職員					(2) 再雇用職員等					(3) 委託先の職員					(4) ボランティア					(5) その他					問6-2					
	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
A 図書館規則の制定、改正等	25 7	2 1	0	0	0	0	0	0	0	11 1	0	0	0	0	5	0	0	0	0	5	0	0	0	0	2	18	0	1	0	2	1
B 図書館の基本計画、サービス計画の策定等	27 11	2	0	0	0	0	2 2	2 2	1	10 1	0	0	0	0	5	0	0	0	0	6	0	0	0	0	2	14	2	3	0	3	0
C 図書館広報の実施 <small>(自治体広報への原稿掲載や視察対応等も含む)</small>	24 11	1	3 2	0	0	1	3 3	3 2	4	6 1	0	0	1	0	4	0	0	1	0	5	0	0	0	0	2	18	2	0	0	2	0
D 図書館資料の選定、購入	24 13	2 1	3 3	0	0	3 2	3 3	6 4	2 1	6	0	0	0	0	5	0	0	0	0	6	0	0	0	0	2	15	3	4	0	1	0
E 納入された資料の確認、 装備や目録の作成・登録	19 9	3 2	3 3	0	1	3 2	1 1	15 9	4 1	0	1	0	3	0	2	0	0	0	0	6	0	0	0	0	2	19	2	0	0	1	0
F 新着本、返却本などの日 常的な排架や書架整理	19 9	3 1	3 2	0	1	4 1	1 1	16 8	3 1	1	1	1	2	0	2	0	0	1	3	3	1	0	0	0	1	18	3	0	0	1	0
G カウンターでの貸出 手続き	20 10	4 2	3 2	0	1	5 1	2 2	13 6	3 1	1	1	1	2	1	2	0	0	1	0	5	1	0	0	0	1	18	2	2	0	1	0
H 読書相談・読書案内・館 内案内	23 11	4 1	2 2	0	0	4 2	1 1	11 5	5 1	1	1	0	2	0	2	0	0	1	0	5	0	0	0	1	1	16	1	4	1	1	0
I レファレンスサービス	23 13	4 2	2 2	0	0	5 3	2 2	10 6	4 1	2	0	0	2	0	3	0	0	1	0	5	0	0	0	1	1	10	4	8	0	1	0
J 相互貸借の受付、他図書 館への依頼	21 10	3 1	3 2	0	0	5 3	2 2	11 7	1 1	4	0	0	1	0	4	0	0	0	0	6	0	0	0	0	2	16	5	0	0	1	0
K 学校、児童館等と連携して 行う図書館サービスの実施	25 12	2 2	1 1	0	0	1 1	2 2	7 4	4 1	4	0	0	0	0	5	1	0	2	1	3	0	0	0	0	2	14	2	1	1	3	1
L 図書館が主催する講座、 研修会、展示会等の実施	27 14	1	0	0	0	2 1	3 3	5 3	7 2	1	0	0	0	0	5	1	0	0	0	5	0	0	0	0	2	15	2	1	1	3	0
M 図書館が主催するお話し 会等の子ども向け行事の実施	23 13	2 1	0	0	2	5 3	2 2	9 6	5 1	1	1	0	0	0	4	0	0	9	2	3	0	0	0	0	2	19	1	2	0	1	0
N 図書館が主催する情報検索講習会、インターネット 利用講習会など、情報関連の行事の実施	11 4	0	0	0	5	1 1	0	1	2	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	6	0	0	0	2	1

(注) 各欄の下段の斜字体の数字は、司書等の資格を有する人が中心となって当該業務を行っているとは回答した図書館数である。

【広島県】

	(1) 常勤職員					(2) 再雇用職員等					(3) 委託先の職員					(4) ボランティア					(5) その他					問6-2					
	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
A 図書館規則の制定、改正等	12 1	1	0	0	0	1	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0
B 図書館の基本計画、サービス計画の策定等	12	1	0	0	0	1	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	7	0	1	0	1	1
C 図書館広報の実施 <small>(自治体広報への原稿掲載や視察対応等も含む)</small>	9 1	3	0	0	0	0	1	5	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	8	0	1	0	2	0
D 図書館資料の選定、購入	8 3	3 1	0	0	0	0	1	5 2	1	2	0	0	1 1	1 1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	7	0	3	0	1	0
E 納入された資料の確認、 装備や目録の作成・登録	9 4	2	0	0	0	1	2	6 2	1	0	0	0	1 1	1 1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	9	2	0	0	0	0
F 新着本、返却本などの日常的な 排架や書架整理	7 1	2 2	0	1	0	4 1	2	7 1	0	0	0	0	2 2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	10	1	0	0	0	0
G カウンターでの貸出手続き	8	1	0	1	0	5	1	6 1	1	0	1 1	0	1 1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	10	1	0	0	0	0
H 読書相談・読書案内・館内案内	10 1	2 1	0	0	0	2 1	1	8 1	1	0	0	0	1 1	1 1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	9	0	2	0	0	0
I レファレンスサービス	10 2	2 1	0	0	0	4 2	1	6 1	1	0	0	0	1 1	1 1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	8	0	3	0	0	0
J 相互貸借の受付、他図書館への 依頼	11 3	1	0	0	0	1	1	4 1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	9	1	1	0	0	0
K 学校、児童館等と連携して 行う図書館サービスの実施	8 1	1 1	0	0	1	2	0	2 1	1	2	0	0	1 1	1 1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	7	1	1	0	1	0
L 図書館が主催する講座、 研修会、展示会等の実施	11 2	2 1	0	0	0	0	0	4 1	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	8	1	1	0	1	0
M 図書館が主催するお話し会 等の子ども向け行事の実施	9 2	2	0	0	0	0	0	4 1	1	1	0	0	1	0	0	1	0	1	2	0	1	0	0	0	0	7	1	1	0	1	0
N 図書館が主催する情報検索講習会、 インターネット利用講習会など、 情報関連の行事の実施	7	1	0	0	2	0	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	5	1	1	1	1	0

(注) 各欄の下段の斜字体の数字は、司書等の資格を有する人が中心となって当該業務を行っているとは回答した図書館数である。

【宮崎県】

	(1) 常勤職員					(2) 再雇用職員等					(3) 委託先の職員					(4) ボランティア					(5) その他					問6-2					
	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
A 図書館規則の制定、改正等	10 3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	4	2	0	0	1	1
B 図書館の基本計画、サービス計画の策定等	10 3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	3	0	1	1	1
C 図書館広報の実施 <small>(自治体広報への原稿掲載や視察対応等も含む)</small>	8 2	0	1 1	0	0	0	0	3 1	0	3	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	5	2	0	0	1	0
D 図書館資料の選定、購入	7 3	0	1 1	0	0	1	0	3 1	0	3	0	0	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	5	0	3	0	0	0
E 納入された資料の確認、 装備や目録の作成・登録	6 2	1	1 1	0	0	1	0	4 1	1	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	7	1	0	0	0	0
F 新着本、返却本などの日常的な 排架や書架整理	6 2	0	1	0	0	1	0	4 2	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	5	3	0	0	0	0
G カウンターでの貸出手続き	6 3	0	1	0	0	2	0	5 2	1	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	7	0	1	0	0	0
H 読書相談・読書案内・館内案内	6 3	0	1	0	0	1	0	4 2	1	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	4	1	1	1	1	0
I レファレンスサービス	7 4	0	1 1	0	0	1	0	4 2	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	1	4	1	0	0
J 相互貸借の受付、他図書館への依頼	5 3	0	1	0	0	2 1	0	3 1	1	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	6	2	0	0	0	0
K 学校、児童館等と連携して行う 図書館サービスの実施	8 2	0	0	0	0	0	0	2 1	1	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3	3	0	1	0	1
L 図書館が主催する講座、 研修会、展示会等の実施	8 2	0	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	6	0	0	1	1	0
M 図書館が主催するお話し会 等の子ども向け行事の実施	5 2	0	1 1	0	0	0	0	4 1	2	0	0	0	1	0	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	7	0	0	1	0	0
N 図書館が主催する情報検索講習会、 インターネット利用講習会など、 情報関連の行事の実施	5	0	0	0	1	0	0	0	2	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3	0	1	1	0	1

(注) 各欄の下段の斜字体の数字は、司書等の資格を有する人が中心となって当該業務を行っているとは回答した図書館数である。

【沖縄県】

	(1) 常勤職員					(2) 再雇用職員等					(3) 委託先の職員					(4) ボランティア					(5) その他					問6-2						
	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	
A 図書館規則の制定、改正等	9 2	5	0	0	0	1	0	1	0	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	11	1	0	0	0	0	0
B 図書館の基本計画、サービス計画の策定等	7 2	5	1	0	0	1	0	2	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	10	1	0	0	0	0	0
C 図書館広報の実施 <small>(自治体広報への原稿掲載や視察対応等も含む)</small>	9 3	3	1	0	0	2 1	0	4 1	4 3	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	11	0	0	0	0	0	0
D 図書館資料の選定、購入	10 4	1	1	0	0	4 1	0	4 2	2 2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	10	0	1	0	0	0	0
E 納入された資料の確認、 装備や目録の作成・登録	9 4	1	2 1	0	0	4 2	0	4 2	3 2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	9	2	0	0	0	0	0
F 新着本、返却本などの日常的な 排架や書架整理	10 5	1	1	0	0	4 3	0	5 3	3 2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	1	0	0	0	1	1	8	3	0	0	0	0	0
G カウンターでの貸出手続き	10 5	1	1	0	0	4 3	0	5 3	3 2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	11	0	0	0	0	0	0
H 読書相談・読書案内・館内案内	10 3	1	1	0	0	4 1	0	4 2	4 3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	7	2	1	0	1	0	0
I レファレンスサービス	9 5	2	1	0	0	4 3	0	4 3	3 2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	7	1	3	0	0	0	0
J 相互貸借の受付、他図書館への依頼	6 2	3 1	2 1	0	1	4 2	0	4 2	3 2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	9	2	0	0	0	0	0
K 学校、児童館等と連携して行う図書館サービスの実施	6 1	4 2	2 1	0	0	2	0	4 2	4 3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	6	3	0	0	1	1	0
L 図書館が主催する講座、研修会、展示会等の実施	9 2	2 1	2 1	0	0	3 1	0	4 2	4 3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	0	0	0	1	1	9	2	0	0	0	0	0
M 図書館が主催するお話し会等の子ども向け行事の実施	8 3	3 2	1	0	0	3 2	1 1	4 2	3 2	0	0	0	0	0	1	1	0	0	3 2	0	0	0	0	1	1	9	2	0	0	0	0	0
N 図書館が主催する情報検索講習会、インターネット利用講習会など、情報関連の行事の実施	5	2	2 1	0	2	2	0	3 1	1	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	6	2	0	0	1	0	0

(注) 各欄の下段の斜字体の数字は、司書等の資格を有する人が中心となって当該業務を行っているとは回答した図書館数である。

○ その他、日常の図書館業務の実施にあたり課題となっていることがありましたら、自由記入欄に記入してください。

- ・ 県立図書館の指導のもとに、図書館図書室の連携を重点に協力し合い、地域に根ざした活動を実施するよう努力している
- ・ 市町村合併が行われてから日が浅いため、運営はまだ軌道に乗っているとはいえないが、各図書館がそれぞれの地域で地域カラーを生かして運営を行おうとしている
- ・ 「協働パートナー制度」を導入し、窓口業務をグループ会員と図書館職員が協働で行っている（委託ではなく責任は職員が負うことになっており、有償ボランティアに近い）
- ・ 館長が非常勤なので業務がスムーズに行えないことが多い
- ・ 分館には、嘱託・臨時職員しかおらず、業務上の責任体制が課題となっている
- ・ 図書館サービスについては、公民館職員が兼務で実施している
- ・ 図書館サービスの中心になるのは司書であり、サービスを向上させていくには司書等の採用や増員が必要と考えている
- ・ 一部の館では実態として、貸出・返却サービスのみしか実施できない状態である
- ・ サービス計画を進める責任は市職員（行政）にあり、図書館サービスを担うのは非常勤嘱託職員であるが、雇用形態が異なるため情報交換の不足が生じやすく、まとまりのある取組が困難になっている
- ・ 隣接市町村で民間の指定管理者が導入されており、今後の変化に予断を許さない状況（昨年までは、臨時職員が多くいたが、今年から資格を持たない正規職員や嘱託職員に替わり仕事への熱意が低下している）

公立図書館職員の採用と業務内容に関する調査

質問票

〔1〕 図書館の運営形態について

問1 図書館の運営形態は何ですか。

- ア 図書館の専門的業務はすべて直営
- イ 図書館の専門的業務について一部は業務委託
- ウ 図書館の専門的業務はすべて業務委託（管理業務等は直営）
- エ 指定管理者制度等によりすべて外部事業者が実施
- オ その他 →具体的な形態を回答用紙に記入してください

（注1）問1で、「ウ」又は「エ」と回答した図書館の方へ

回答用紙の自由記入欄に、①業務受託事業者の名称と事業所所在地、②本件及び業務・委託契約の内容等について照会する場合の連絡先（図書館、受託事業者、教育委員会など）を記入してください。（本調査票の問2以降の回答は不要です。）

（注2）図書館の専門的業務とは、

資料の収集・保存業務、各種利用者サービス業務、都道府県立図書館における市町村立図書館支援業務等を指します。また、施設の維持・管理、清掃等や単純な図書館資料の搬送業務等は除きます。

〔2〕 図書館で働いている人の類型及び人数について

（注1）問1（注2）に示す図書館の専門的業務に従事する人に、図書館の総務、会計等に従事する人を加えた人を対象として、本年7月1日現在の数値を記入してください。

（注2）複数の図書館が設置されている場合は、中央館等の数値を回答用紙1枚目に、それ以外の図書館の数値を回答用紙2枚目に回答してください。

（注3）「勤務時間計」欄には、該当する人全員分の1週間あたりの勤務時間の合計を記入してください。

（注4）問2-3について、業務委託先の社員（職員）が図書館に出向いて働く場合に「派遣職員」などという呼び方をする図書館がありますが、業務委託契約に基づく社員等は問2-2に含めてください。

問2-1 図書館で働いている地方公共団体職員について記入してください。

- ① 常勤職員（司書職）（ ）人
- ② 常勤職員（事務職等）（ ）人 うち司書等有資格者（ ）人
- ③ 地方公務員法第28条の4の規定に基づく再任用・再雇用職員
・（ ）人 うち司書等有資格者（ ）人 勤務時間計（ ）時間
・再任用職員の雇用契約期間（ ）ヶ月 契約更新等による実質的雇用最長期間（ ）ヶ月
・契約更新制限のない再任用職員がいるか・・・ いれば、（ ）人 うち有資格者（ ）人
- ④ 地方公務員法第3条第3項第3号の規定に基づく非常勤（嘱託）職員
・（ ）人 うち司書等有資格者（ ）人 勤務時間計（ ）時間
・非常勤職員の雇用契約期間（ ）ヶ月 契約更新等による実質的雇用最長期間（ ）ヶ月
・契約更新制限のない非常勤職員がいるか・・・ いれば、（ ）人 うち有資格者（ ）人
- ⑤ 地方公務員法第22条第2項又は第5項の規定に基づく臨時職員
・（ ）人 うち司書等有資格者（ ）人 勤務時間計（ ）時間
・臨時職員の雇用契約期間（ ）ヶ月 契約更新等による実質的雇用最長期間（ ）ヶ月
・契約更新制限のない臨時職員がいるか・・・ いれば、（ ）人 うち有資格者（ ）人

問2-2 図書館で働く外部事業者の社員（職員）について記入してください。

（注）すべての欄に記入できない場合でも可能な範囲で数値を記入してください。

- ⑥ 当該事業者の終身雇用の正社員（ ）人 うち司書等有資格者（ ）人
- ⑦ 当該事業者の正社員で雇用期間の定めのある人
（ ）人 うち司書等有資格者（ ）人 勤務時間計（ ）時間
- ⑧ 当該事業主にアルバイト・パート等で雇用されている人
（ ）人 うち司書等有資格者（ ）人 勤務時間計（ ）時間
- ⑨ ⑥～⑧の合計 総数（ ）人 うち司書等有資格者（ ）人 勤務時間計（ ）時間

問2-3 図書館に労働者派遣法に基づく派遣労働者はいますか。

いない ・ いる（ ）人 うち司書等有資格者（ ）人 勤務時間計（ ）時間

問2-4 図書館ボランティアはいますか。

いない ・ いる（ ）人 うち司書等有資格者（ ）人 勤務時間計（ ）時間

問2-5 上記以外に図書館で働いている人はいますか

いない ・ いる →どういった立場の人か、その人数など、具体的に記入してください

〔3〕図書館に勤務する常勤職員の採用及び任命について

問3-1 司書及び司書補（以下、「司書等」という）について、専門職としての任命がありますか。

- ア ある
- イ 制度はあるが、現在、任命されている職員はいない
- ウ ない（過去にもなかった、確認できる限り過去にもなかった）
- エ 過去にあったが、現在は廃止された
- オ その他 →具体的に記入してください

問3-2 問3-1で「ア」と回答した図書館にお聞きします。過去の採用等の実績を記入してください。（過去10年間の募集人数、応募人数、採用人数、及び事務職等から異動して司書等として任命された人数を、各年度ごとに記入してください。なお、過去10年間にまったく採用等がない場合は、最新の実績について記入してください。）

問3-3 問3-1で「ア」と回答した図書館にお聞きします。公立図書館以外で、司書等の専門職が配置されている勤務先はありますか。該当するものを選択し、ア、イについては施設数と配置職員数を、ウ、エ、オについては、具体的な施設名と配置職員数を記入してください。

- ア 公立学校
- イ 公民館
- ウ 博物館
- エ 試験研究機関
- オ その他 →具体的に記入してください

問3-4 図書館の専門的業務を行う職員の採用はどのようになっていますか。地方公共団体または図書館としての方針を、具体的な方針等がない場合は過去5年間程度の実績等を踏まえ回答してください。

- ア 図書館職員としての募集・採用試験がある
- イ 図書館職員としての募集がある。一般行政職と同じ一次試験（筆記試験等）を行い、二次試験（面接や専門分野の筆記試験等）で図書館学に関する出題がある
- ウ 一般行政職としての採用者の中から、本人の希望を確認しつつ、司書有資格者を優先的に図書館に配置する
- エ 一般行政職の採用者の中から図書館に配置されるが、司書資格の有無、本人の希望等は考慮されない
- オ その他 →具体的に記入してください

問3-5 図書館の専門的業務を行う職員を新規に採用する場合、採用までの時点で図書館は選考に加わりませんか。

- ア 募集、試験問題作成、面接、選考等に図書館が関与する
→図書館が関与する具体的な業務を記入してください
- イ 図書館長や図書館職員が選考委員等の一員となって採用手続に参画する
- ウ あらかじめ図書館の希望を採用担当部局に提示しておき、その方針に基づき採用担当部局が実施する
- エ 図書館は採用担当部局に採用したい人材の能力等を提示する機会があるが、図書館の意向がどの程度反映されるかは不明（又は、図書館の意向はあまり反映されない）
- オ 通常の定員要求等の手順があるのみで、採用者や異動による補充となるかなどは、異動時期の直前まで不明である
- カ その他 →具体的に記入してください

〔4〕常勤職員の図書館と外部機関との間の異動について

問4-1 図書館の専門的業務に従事している職員の異動はどのようになっていますか。過去10年程度の実績の説明としてもっともあてはまるものを選択してください。①専門職として任命された職員、②司書資格を有しているが専門職としては任命されていない職員、について回答してください。（専門職としての任命のない図書館については、②のみ回答してください。）

- ア 本人の希望がない限り、退職までの間、原則として図書館（問3-3の各施設や人事交流等による隣接自治体の図書館等を含む）に勤務する
- イ 管理職登用などの節目に図書館外に異動する場合がある（一定の職務経歴後に図書館の管理職となる）
- ウ 管理職登用などの節目に図書館外に異動する場合がある（管理職となった後は一般行政職と同じ扱いとなり、図書館に復帰する保証はなくなる）
- エ 一定の勤務期間を経過したら図書館外に異動することが通例である（一定の職務経歴後は図書館に復帰する）
- オ 一定の勤務期間を経過したら図書館外に異動することが通例である（一般行政職と同じ扱いとなり、図書館に復帰する保証はなくなる）
- カ 図書館外への異動も普通にある（一般行政職と同じ扱いである）
- キ その他 →具体的に記入してください

問4-2 常勤地方公共団体職員の、図書館外から図書館への異動はどのようになっていますか。過去5年間程度の実績の説明としてもっともあてはまるものを選択してください。

- ア 司書資格を有する人で図書館勤務を希望する人が異動する
- イ 司書資格を有する人が異動するが、本人の希望は、あまり考慮されない
- ウ 司書資格の有無に関係なく異動があるが、司書資格取得の機会が与えられる（講習への派遣や通信教育受講費の補助制度等がある）
- エ 司書資格の有無に関係なく異動があるが、司書資格取得の機会はない
- オ その他 →具体的に記入してください

〔5〕非常勤（嘱託）職員や臨時職員の採用について

問5-1 非常勤（嘱託）職員や臨時職員の採用はどのようになっていますか。

- ア 募集や選考を図書館が行う
- イ 募集や選考を教育委員会が行う
- ウ 募集や選考を教育委員会が行うが、図書館の希望は一定程度、反映される
- エ 募集や選考を首長部局が行う
- オ 募集や選考を首長部局が行うが、図書館の希望は一定程度、反映される
- カ その他 →具体的に記入してください

問5-2 採用の際に試験等は実施しますか。

- ア 図書館学に関する筆記試験を行う（筆記及び面接の両方を行う場合を含む）
- イ 図書館学に関する口答試験、面接等を行う
- ウ 履歴書等で図書館学に関する知識の有無を判断する
- エ 図書館学に関する知識は問わない
- オ その他 →具体的に記入してください

問5-3 選考にあたっての図書館学に関する知識とそれ以外の条件（面接での態度や図書館以外での職歴、人柄など）との評価割合はどうなっていますか。

- ア 図書館学に関する一定の知識を持っていることが採用の必要要件
- イ 図書館学に関する知識を持っていることは採用できわめて重要な評価点
- ウ 図書館学に関する知識も評価するが、人柄などの方が重要な評価点
- エ 人柄などの評価が中心であり、図書館学に関する知識については、あれば望ましい、という程度
- オ 採用する時によって異なる（採用する職員ごとに具体的な担当業務が決まっており、その業務に応じて評価することになっている）
- カ その他 →具体的に記入してください

○ その他、職員の採用や任命に関して課題となっていることがありましたら、自由記入欄に記入してください。

〔6〕図書館業務の実施状況について

問6-1 A～Nの各業務は、(1)～(5)のどの人が担当していますか。業務の分担として、もっとも当てはまる状況を、ア～オからそれぞれ選択して回答してください。

なお、司書等の資格を有する人が中心となって当該業務を行っている場合は、㊦など、「O」をつけて回答してください。

【図書館勤務者の分類】

- (1) 常勤職員
- (2) 再雇用職員、非常勤（嘱託）職員、臨時職員
- (3) 業務委託先の職員（社員）、派遣社員等
- (4) 図書館ボランティア
- (5) その他（具体的に記入）

【具体的な業務の種類】

- A 図書館規則の制定、改正等
- B 図書館の基本計画、サービス計画の策定等
- C 図書館広報の実施（自治体広報への原稿掲載や視察対応等も含む）
- D 図書館資料の選定、購入
- E 納入された資料の確認、装備や目録の作成・登録
- F 新着本、返却本などの日常的な排架や書架整理
- G カウンターでの貸出手続き
- H 読書相談・読書案内・館内案内
- I レファレンスサービス
- J 相互貸借の受付、他図書館への依頼
- K 学校、児童館等と連携して行う図書館サービスの実施
- L 図書館が主催する講座、研修会、展示会等の実施
- M 図書館が主催するお話会等の子ども向け行事の実施
- N 図書館が主催する情報検索講習会、インターネット利用講習会など、情報関連の行事の実施

【業務分担の分類】

- ア 当該業務の全体を実施する。（下記の「イ」及び「ウ」の業務の両方を行う。）
- イ 当該業務の責任者・調整役等の立場で、方針策定・基本的ルールの決定・企画立案・例外事象に対する判断等を実施を行う。（現場での実務は行わない。）
- ウ 「イ」の人の指示により）当該業務の現場での実務・サービスの実施・個別の書類や資料の作成等を中心となって行う
- エ 「ウ」の人を支援する立場で現場での作業等の補助的な業務（講習会の会場整理を含む）を行う
- オ 当該業務は担当していない

【問6-1の記入上の注意】

- ・業務分担は、通常の場合を前提に回答してください。（業務多忙時や職員の一部のみが出勤する休日等に業務を分担することがあり得る場合などは含めずに回答してください。）
- ・当該業務について、誰が担当するかは決まっておらず、その時々を実施可能な人が実施しているような場合についても、実施する可能性のある選択肢ア～オのいずれかを記入してください。また、中央館等とそれ以外の館で担当が異なる場合は、中央館等の状況を回答してください。（必要に応じ、自由記入欄に記入してください。）
- ・当該業務を、他の機関の職員や外部の会社等が実施している場合（併設公民館の職員が実施している場合など）は自由記入欄に記入してください。

【記入例】

- ・カウンターでの貸出手続きについて、常勤職員の司書が作業手順の決定等を行い、カウンターでの業務を臨時職員と有資格の図書館ボランティアが行う場合

	G
(1)	㊦
(2)	ウ
(3)	オ
(4)	㊦
(5)	

← (3) に該当する人がいるが当該業務は担当していない場合は「オ」を記入（空欄にしない）

← (5) に該当する人が図書館にいない（問2で0人又は「いない」と回答）場合は空欄

問6-2 問6-1のA～Nの各業務について、業務の実施状況はどうですか。

- ア 業務は適切に運営されている
- イ 担当する職員の状況に比べて業務量が多く、業務が滞る場合がある
- ウ 業務内容に専門的な知識が必要な場合があり、担当職員の専門性の不足を感じる場合がある
- エ 業務分担が不明確・不適切などで、業務が適切に実施されない場合がある
- オ 業務の内容や結果について評価や分析は行っていない
- カ その他 →具体的に記入してください

○ その他、日常の図書館業務の実施にあたり課題となっていることがありましたら、自由記入欄に記入してください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

（平成19年8月7日（火）までにメール、ファクシミリ又は郵送でご回答ください。）

筑波大学 図書館情報メディア研究科専任講師	From : (図書館名)	(都道府県名)
濱田 幸夫 宛	(担当者氏名)	(課係名・役職)
(Fax _____)	(電話)	(Fax)

公立図書館職員の採用と業務内容に関する調査回答用紙

問1 ーウ、エの場合は注1を参照

問2-1

	①	②	③	④	⑤
人数					
うち有資格者					
勤務時間計					
雇用契約期間					
最長契約期間					
更新制限なし人数					
うち有資格者					

問3

問3-1	問3-2
問3-4	
問3-5	

問3-3 アイウエオ

問4・問5

問4-1(1) 件命あり	問4-1(2) 件命なし	問4-2	問5-1	問5-2	問5-3
-----------------	-----------------	------	------	------	------

問6

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
(1)														
(2)														
(3)														
(4)														
(5)														
問6-2														

問2-2

	⑥	⑦	⑧	⑨
人数				
うち有資格者				
勤務時間計				

問2-3～問2-5

	問2-3	問2-4	問2-5
いる	いない	いない	いない
人数			
うち有資格者			
勤務時間計			

問1、問2、問3に関する自由記入欄

問4、問5に関する自由記入欄

問6に関する自由記入欄

公立図書館職員の採用と業務内容に関する調査回答用紙

複数の図書館が設置されている場合のみ記入して返送してください。

(回答図書館名)
(都道府県名)

図書館(分館等)名

問2-1

	①	②	③	④	⑤
人数					
うち有資格者					
勤務時間計					
雇用契約期間					
最長契約期間					
更新制限なし人数					
うち有資格者					

図書館(分館等)名

問2-1

	①	②	③	④	⑤
人数					
うち有資格者					
勤務時間計					
雇用契約期間					
最長契約期間					
更新制限なし人数					
うち有資格者					

図書館(分館等)名

問2-1

	①	②	③	④	⑤
人数					
うち有資格者					
勤務時間計					
雇用契約期間					
最長契約期間					
更新制限なし人数					
うち有資格者					

問2-2

	⑥	⑦	⑧	⑨
人数				
うち有資格者				
勤務時間計				

問2-3～問2-5

	問2-3	問2-4	問2-5
いる	いない	いない	いない
人数			
うち有資格者			
勤務時間計			

問2-2

	⑥	⑦	⑧	⑨
人数				
うち有資格者				
勤務時間計				

問2-3～問2-5

	問2-3	問2-4	問2-5
いる	いない	いない	いない
人数			
うち有資格者			
勤務時間計			

問2-2

	⑥	⑦	⑧	⑨
人数				
うち有資格者				
勤務時間計				

問2-3～問2-5

	問2-3	問2-4	問2-5
いる	いない	いない	いない
人数			
うち有資格者			
勤務時間計			